

プログラム

年会長講演

基調講演

特別講演

教育講演

年会長企画シンポジウム

年会特別企画シンポジウム

学会推薦企画シンポジウム

年会プログラム委員会企画シンポジウム

学会委員会企画シンポジウム

優秀論文賞受賞講演

シンポジウム

ワークショップ

メディカルセミナー

スイーツセミナー

口頭発表

ポスター発表

年会長講演

年会長講演

持続可能な発展に向けた緩和医療薬学の未来予想図を描く

5月27日(土) 9:00～9:30 第1会場(神戸国際会議場1・B1F「メインホール」)

座長：伊勢 雄也(日本医科大学付属病院 薬剤部)

演者：徳山 尚吾(神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

基調講演

基調講演

緩和ケア 新たな時代における臨床と研究の方向性

5月27日(土) 9:30～10:20 第1会場(神戸国際会議場1・B1F「メインホール」)

座長：徳山 尚吾(神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

演者：木澤 義之(筑波大学 医学医療系 緩和医療学)

特別講演

特別講演 1

健康で幸福な人生 100 年を創出するための「空間×ヘルスケア 2030」 ～薬剤師の再定義 ヘルスケアマイスター～

5月27日(土) 10:30～11:20 第1会場(神戸国際会議場1・B1F「メインホール」)

座長：稲葉 一郎(株式会社ハートフェルト 薬局セントラルファーマシー長嶺)

演者：高橋 博樹(日経 BP 総合研究所 主席研究員)

特別講演 2

コロナ禍における緩和医療

5月28日(日) 10:45～11:35 第1会場(神戸国際会議場1・B1F「メインホール」)

座長：橋田 亨(神戸学院大学 薬学部)

演者：西本 哲郎(神戸市立医療センター中央市民病院 緩和ケア内科)

教育講演

教育講演 1

緩和薬物治療の現在標準と将来展望；適切な痛みの薬物療法を再考する

5月27日(土) 13:15～14:05 第1会場(神戸国際会議場1・B1F [メインホール])

座長：中川 貴之(和歌山県立医科大学 薬学部)

演者：山口 重樹(獨協医科大学医学部 麻酔科学講座)

教育講演 2

緩和医療領域における遺伝子解析の意義と今後の展望

5月27日(土) 14:30～15:20 第1会場(神戸国際会議場1・B1F [メインホール])

座長：成田 年(星薬科大学 / 国立がん研究センター研究所)

演者：池田 和隆((公財)東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野)

年会長企画シンポジウム

年会長企画シンポジウム

持続可能な発展に向けた緩和医療薬学の未来予想図を描く

5月27日(土) 16:00～18:00 第1会場(神戸国際会議場1・B1F [メインホール])

オーガナイザー：徳山 尚吾(神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

座長：徳山 尚吾(神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

年会長企画-1 学生教育から展望する緩和医療薬学の未来予想図

高宮 有介(昭和大学 医学部 医学教育学講座)

年会長企画-2 緩和医療に寄与する病院薬剤師の描く未来予想図とは？

伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター がん包括診療部/薬剤部)

年会長企画-3 地域医療の創生と安心して緩和医療を選択できる世の中へ

小林 篤史(株式会社 佳林 カリン薬局)

年会長企画-4 緩和医療薬学の進化のために大学研究者・教育者が今出来ること

溝口 広一(東北医科薬科大学 薬学部 機能形態学教室)

年会長企画-5 緩和医療に臨む明日の薬剤師への期待

的場 康德(鹿児島大学大学院 腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科学)

年会特別企画シンポジウム

年会特別企画シンポジウム

緩和薬物療法における薬剤師連携とそれを支える薬剤師の育成

5月28日(日) 13:30～15:30 第1会場(神戸国際会議場1・B1F「メインホール」)

オーガナイザー：室井 延之(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)
三宅 圭一(一般社団法人兵庫県薬剤師会 副会長)
座長：室井 延之(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)
三宅 圭一(一般社団法人兵庫県薬剤師会 副会長)

特別企画-1 兵庫県におけるがん薬物療法の薬剤師連携について ～先進的薬剤業務特別委員会の取り組み～

小玉 博一(日本赤十字社 多可赤十字病院 薬剤部/兵庫県病院薬剤師会 先進的薬剤業務特別委員会)

特別企画-2 緩和薬物療法における薬剤師連携とそれを支える薬剤師の育成

藤本 高弘(マルゼンうねの駅前薬局)

特別企画-3 病院と薬局のグループ化を通して薬学教育を実践する～姫路・西播地区グループ協議会報告～

住谷 庸子(シオン薬局/一般社団法人 兵庫県薬剤師会)

特別企画-4 緩和ケアの地域連携を目指した卒後教育プログラムの構築

薩摩 由香里(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

学会推薦企画シンポジウム

学会推薦企画シンポジウム

広域甚大災害直後のがん医療と緩和医療～背景を知り、これからの緩和医療薬学会の取り組みに活かす～

5月28日(日) 9:00～10:30 第4会場(神戸国際会議場5F「501」)

オーガナイザー：的場 元弘(青森県立中央病院 副院長/医療連携推進監・緩和医療科部長)
座長：的場 元弘(青森県立中央病院 副院長/医療連携推進監・緩和医療科部長)
金野 良則(気仙中央薬局)

推薦企画-1 大規模災害とがん医療提供の課題

若尾 文彦(国立がん研究センター がん対策研究所)

推薦企画-2 東日本大震災直後の薬剤流通の現場で起こっていたこと

及川 一哉(東北アルフレッサ株式会社 ロジスティクス本部)

指定発言 基幹病院の機能確保と地域連携

村上 雅彦(岩手県立大船渡病院)

年会プログラム委員会企画シンポジウム

年会プログラム委員会企画シンポジウム 1

緩和医療薬学における未来につなぐ持続可能な貢献～緩和ケア領域において多角的なアプローチのできる薬剤師の養成を目指して～

5月27日(土) 13:15～14:45 第2会場(神戸国際会議場 3F「国際会議室」)

オーガナイザー：薩摩 由香里(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)
座長：薩摩 由香里(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)
金剛 圭佑(神戸低侵襲がん医療センター 薬剤部)

年会企画 1-1 心不全療養指導士の立場から

登 佳寿子(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

年会企画 1-2 非がん性疼痛を有する患者へのオピオイド処方に対して、薬剤師が実施すべきモニタリングとアクション

飯田 真之(神戸大学医学部附属病院 薬剤部)

年会企画 1-3 がん専門薬剤師としての緩和医療への関わり

澤井 麻記(社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院)

年会企画 1-4 大学病院の緩和ケアチーム活動における緩和医療暫定指導薬剤師の役割

原 伸輔(大阪大学 医学部附属病院 薬剤部)

年会プログラム委員会企画シンポジウム 2

緩和医療薬学における未来につなぐ持続可能な貢献～がん疼痛治療の標準治療と精密個別化治療～

5月28日(日) 9:00～10:30 第1会場(神戸国際会議場 1・B1F「メインホール」)

オーガナイザー：吉澤 一巳(東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室)
座長：宮野 加奈子(東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座)
竹村 佳記(富山大学 医学部 麻酔科学講座)

年会企画 2-1 「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン」を紐解く

山口 崇(神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科)

年会企画 2-2 臨床緩和薬物療法におけるオピオイドの遺伝子診断を用いた個別化医療の可能性

田中 怜(静岡県立静岡がんセンター 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)

年会企画 2-3 精密個別化治療を目指したエピゲノム鎮痛の勧め～ある麻酔科医ならびにペインクリニシヤンの見地から～

竹村 佳記(富山大学附属病院 麻酔科/星薬科大学 薬理学研究室)

年会企画 2-4 疼痛制御の新潮流 - オピオイド受容体ヘテロ二量体への期待 -

藤田 和歌子(長崎大学 医歯薬学総合研究科 医科薬理学分野)

年会プログラム委員会企画シンポジウム 3

緩和医療薬学における未来につなぐ持続可能な貢献：臨床業務，臨床研究の新潮流 ～データサイエンス，デジタル化をキーワードに～

5月28日（日） 9:00～10:30 第7会場（神戸商工会議所会館 3F「神商ホールA」）

オーガナイザー：座間味 義人（岡山大学病院 薬剤部）
鍛冶園 誠（岡山大学病院 薬剤部）
座長：鍛冶園 誠（岡山大学病院 薬剤部）
濱野 裕章（岡山大学病院 薬剤部）

年会企画 3-1 岡山大学病院緩和ケアチームにおけるデジタルツールの利活用

榎田 崇志（岡山大学病院 薬剤部）

年会企画 3-2 末梢神経障害の克服に向けて～データサイエンスから繋げた多施設共同研究～

武智 研志（松山大学 薬学部 医療薬学科 医薬情報解析学）

年会企画 3-3 DX で終末期がん患者の思いを叶える

仁木 一順（大阪大学大学院 薬学研究科 医療薬学分野／市立芦屋病院 薬剤科）

年会企画 3-4 医療ビッグデータ解析の緩和ケアへの応用

濱野 裕章（岡山大学病院 薬剤部）

学会委員会企画シンポジウム

学会委員会企画シンポジウム 1

緩和医療を担う薬剤師の持続発展的な育成に向けて

5月27日（土） 16:30～18:00 第2会場（神戸国際会議場 3F「国際会議室」）

オーガナイザー：中川 貴之（和歌山県立医科大学 薬学部）
内田 まやこ（同志社女子大学薬学部）
座長：中川 貴之（和歌山県立医科大学 薬学部）
内田 まやこ（同志社女子大学薬学部）

委 1-1 教育研修委員会が目指す緩和医療を担う薬剤師の持続発展的な育成

中川 貴之（和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学分野／日本緩和医療薬学会 教育研修委員会）

委 1-2 教育セミナーのこれまでとこれから

矢野 琢也（医療法人 住友別子病院 薬剤部）

委 1-3 pSMILE の立ち上げと今後の展望

壁谷 めぐみ（名古屋記念病院 薬剤部）

委 1-4 麻薬教育認定薬剤師制度の概要と今後の展望

吉澤 一巳（東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室／日本緩和医療薬学会 教育研修委員会）

学会委員会企画シンポジウム 2

2022年度緩和薬物療法認定薬剤師審査における優秀症例から学ぶ薬学的介入の実際

5月27日(土) 9:30～11:00 第3会場(神戸国際会議場 4F [401+402])

オーガナイザー：金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター)
佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)
座長：佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)
阿久井 千亜紀(兵庫医科大学病院 薬剤部)

委 2-1 緩和薬物療法認定薬剤師への道のり～病院薬剤師による薬学的介入～

番場 麻菜美(青森県立中央病院)

委 2-2 メサペイン使用患者が内服困難に・・・どうする？

奥田 智子(社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院)

委 2-3 地域医療/地域包括ケアの中での緩和ケアと薬剤師～病院から地域へ～

小林 真也(医療法人若葉会 近藤内科病院(ホスピス徳島))

委 2-4 在宅緩和医療における保険薬局薬剤師による薬学的介入の実際

上遠野 剛司(株式会社 サノ・ファーマシー 山王薬局)

学会委員会企画シンポジウム 3

緩和薬物療法認定薬剤師における保険加算業務に導くエビデンス構築(最終結果報告)

5月27日(土) 13:15～14:45 第3会場(神戸国際会議場 4F [401+402])

オーガナイザー：高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院薬剤部)
内田 まよこ(同志社女子大学薬学部)
座長：高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院薬剤部)
内田 まよこ(同志社女子大学薬学部)

委 3-1 緩和薬物療法認定薬剤師による介入指導の実態調査および非認定薬剤師との比較検討(最終報告)

田中 怜(静岡県立静岡がんセンター 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)

委 3-2 緩和ケアにおける薬剤師の副作用への介入：多施設パイロット調査

中川 左理(神戸学院大学 薬学部/日本緩和医療薬学会 臨床研究委員会)

委 3-3 緩和薬物療法認定薬剤師の介入の医療経済効果に関する多施設共同後方視的観察研究(最終結果報告)

川尻 雄大(九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野)

学会委員会企画シンポジウム 4

緩和医療薬学研究におけるSDGsを考える～研究成果を投稿し、持続可能な緩和医療の発展を目指そう～

5月27日(土) 13:15～14:45 第5会場(神戸国際会議場 5F [502])

オーガナイザー：佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)
志田 敏宏(山形大学医学部附属病院)
座長：佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)
志田 敏宏(山形大学医学部附属病院)

委 4-1 オープニング 2022年度の日本緩和医療薬学雑誌の投稿・受理現状

伊勢 雄也(日本医科大学 付属病院 薬剤部)

委 4-2 臨床研究の推進と研究結果を投稿するまで

国分 秀也(湘南医療大学 薬学部)

委 4-3 学術論文の投稿規定の解説～日本緩和医療薬学会雑誌を例に～

佐藤 淳也 (湘南医療大学 薬学部)

委 4-4 市中病院薬剤師の論文投稿へのあくなき挑戦

山田 正実 (大阪府済生会野江病院 薬剤科)

委 4-5 薬剤師の在宅医療業務に関する論文執筆活動とその意義

小林 星太 (かがやきクリニック/かがやき在宅診療所)

委 4-6 個人情報保護法の改正に伴う倫理指針への影響

島津 実伸 (千葉大学 医学部附属病院 臨床試験部)

学会委員会企画シンポジウム 5 緩和医療推進のための日本緩和医療薬学会会員主導臨床研究

5月28日(日) 9:00～10:30 第2会場 (神戸国際会議場 3F [国際会議室])

オーガナイザー：国分 秀也 (湘南医療大学 薬学部)
川名 真理子 (亀田総合病院 薬剤部)
座長：国分 秀也 (湘南医療大学 薬学部)
辻 稔 (国際医療福祉大学 薬学部)

委 5-1 薬局薬剤師に対する緩和ケアの相談支援体制の必要性と実行可能性に関する横断的調査研究

土井 真喜 (株式会社メディカルシステムネットワーク 地域薬局事業部)

委 5-2 オピオイド鎮痛薬未使用のがん疼痛患者におけるフェントステープと経口オキシコドン徐放製剤の疼痛薬物療法の比較検討

川名 真理子 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院 薬剤部)

委 5-3 ヒドロモルフォン製剤の換算比に関する多機関共同後方視的観察研究

中村 和代 (静岡県立総合病院 薬剤部/緩和医療薬学会研究支援委員会)

委 5-4 緩和医療における点滴ルートマネジメントの確立に向けた配合変化試験要望調査

近藤 匡慶 (日本医科大学多摩永山病院 薬剤部)

学会委員会企画シンポジウム 6 地域医療において一歩進んだ在宅緩和ケアを目指して

5月28日(日) 13:30～15:00 第5会場 (神戸国際会議場 5F [502])

オーガナイザー：小林 篤史 (株式会社佳林 カリン薬局)
座長：小林 篤史 (株式会社佳林 カリン薬局)
川添 哲嗣 (徳島文理大学 香川薬学部 医療薬学講座)

委 6-1 「在宅緩和ケア対応薬局」認証システムの運用について～地域における在宅緩和ケアの応需体制構築と質の向上を目指して～

稲葉 一郎 (株式会社ハートフェルト 薬局セントラルファーマシー長嶺)

委 6-2 地域医療における薬局の役割

豊見 敦 (日本薬剤師会)

委 6-3 在宅医の立場から—在宅緩和ケアにおいて薬局・薬剤師に期待するもの

佐々木 淳 (医療法人社団 悠翔会)

委 6-4 在宅医療における薬剤師在宅医療における薬局・薬剤師への期待と展望

松下 俊介 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課)

論文賞受賞講演

論文賞受賞講演

5月28日(日) 15:45～16:35 第1会場(神戸国際会議場 1・B1F「メインホール」)

座長: 佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)

論文賞受賞講演 **がんおよびがん治療による神経障害性疼痛に対するデュロキセチンの効果発現時期の検討**

西澤 庸介(山口大学 医学部附属病院 薬剤部)

シンポジウム

シンポジウム 1

最新のオピオイド分子薬理研究の成果を活かす緩和医療・がん支持療法の理解

5月27日(土) 9:30～11:00 第2会場(神戸国際会議場 3F「国際会議室」)

オーガナイザー: 成田 年(星薬科大学 薬理学研究室/国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)
井関 雅子(順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座/順天堂大学大学院医学研究科疼痛制御学)
座長: 葛巻 直子(星薬科大学 薬理学研究室)
吉澤 一巳(東京理科大学薬学部薬学科 疾患薬理学研究室)

S1-1 μ オピオイド受容体をアロステリックに修飾する内因性非オピオイドペプチドの解析

宮野 加奈子(東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座/国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)

S1-2 進化し続ける緩和医療—オピオイド鎮痛薬の最新理解と整理

余宮 きのみ(埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)

S1-3 末梢性 μ オピオイド受容体拮抗薬のがん治療・がん支持療法における有用性の最新知見

権藤 栄蔵(順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

S1-4 オピオイド受容体の多様性機能の分子理解: がん免疫に関わるオピオイドネットワーク

成田 年(星薬科大学 薬理学研究室/国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)

シンポジウム 2

緩和薬物療法認定薬剤師の取得とその後の活躍—症例報告書の書き方と認定試験を中心に—

5月27日(土) 16:30～18:00 第3会場(神戸国際会議場 4F「401+402」)

オーガナイザー: 田中 育子(市立芦屋病院 薬剤科)
座長: 金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部)
平山 武司(北里大学 薬学部(北里大学病院 薬剤部))

S2-1 症例報告の書き方 病院症例を中心として

田中 育子(市立芦屋病院 薬剤科)

S2-2 症例報告の書き方 薬局症例を中心に

佐久間 詠理(医療法人社団 淳友会 わたホームクリニック)

S2-3 緩和薬物療法認定試験の概要について

村井 扶 (株式会社ゆそえる あけぼの薬局)

S2-4 認定薬剤師の活躍 - 更新申請も見据えて -

堀 麻衣 (医療法人薫風会 佐野病院 診療技術部 薬局)

シンポジウム 3

保険薬局薬剤師の緩和医療における地域での取り組み

5月27日(土) 9:30～11:00 第4会場 (神戸国際会議場 5F [501])

オーガナイザー：加藤 剛 (一般社団法人 所沢市薬剤師会 / 所沢慈光病院薬剤部)

土井 信幸 (高崎健康福祉大学薬学部地域医療学研究室)

座長：土井 信幸 (高崎健康福祉大学薬学部地域医療学研究室)

宮崎 菜穂子 (せや在宅クリニック)

S3-1 薬局薬剤師の親が緩和ケアを望んだ時。本人の意向と家族の思いをどのようにまとめていくか

斉藤 祐次 ((一社) 埼玉県薬剤師会)

S3-2 終末期患者とその家族に伴走する薬局薬剤師

猪股 鉄也 (株式会社かくの木 かくの木薬局)

S3-3 地域に根ざす在宅医療を目指して

池田 里江子 (ふれあい薬局 飯能店 / 飯能地区薬剤師会 / (一社) 埼玉県薬剤師会)

シンポジウム 4

緩和ケアチーム薬剤師として最前線で携わり10年 今現場で求められる「つなぐ力」

5月27日(土) 13:15～14:45 第4会場 (神戸国際会議場 5F [501])

オーガナイザー：大東 敏和 (広島大学病院 薬剤部)

石原 正志 (岐阜大学医学部附属病院 薬剤部)

座長：金子 健 (慶應義塾大学病院 薬剤部)

石原 正志 (岐阜大学医学部附属病院 薬剤部)

S4-1 なぜ今、緩和医療を専門とする薬剤師が現場で求められる役割が「つなぐ力」なのか

大東 敏和 (広島大学病院 薬剤部)

S4-2 緩和ケアを専門とする薬剤師が現場で大切にしている「つなぐ」意識

岡本 明大 (三重大学医学部附属病院 薬剤部)

S4-3 緩和ケアチームと連携し患者の必要とする緩和医療を提供することの重要性

廣瀬 智恵美 (岐阜大学医学部附属病院 薬剤部)

シンポジウム 5

がん薬物療法・緩和医療における感覚異常の克服を目指した研究戦略

5月27日(土) 9:30～11:00 第5会場(神戸国際会議場 5F [502])

オーガナイザー：木口 倫一(和歌山県立医科大学 薬学部 生体機能解析学研究室)
今井 哲司(和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室)
座長：木口 倫一(和歌山県立医科大学 薬学部 生体機能解析学研究室)
今井 哲司(和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室)

S5-1 痒みを生じない新しい作用機序を有するオピオイド化合物の薬効評価

木口 倫一(和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室)

S5-2 抗がん薬により誘発される感覚異常のモデル動物の作製と病態解明

歌 大介(富山大学 学術研究部薬学・和漢系 応用薬理学研究室)

S5-3 薬剤部で推進する抗がん剤誘発末梢神経障害の病態解明と原因治療法の提言に向けたトランスレーショナルリサーチ

今井 哲司(和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室/京都大学 医学部附属病院 薬剤部)

シンポジウム 6

緩和と栄養の関係性、栄養療法のスペシャリストが贈る現場からのメッセージ～ココを押さえておくと良いですよ！栄養療法の良いところ～

5月27日(土) 16:30～18:00 第5会場(神戸国際会議場 5F [502])

オーガナイザー：鈴木 慶介(公益社団法人 地域医療振興協会 台東区立台東病院・老人保健施設千束 薬剤室)
茂木 孝裕(草加市立病院 薬剤部)
座長：鈴木 慶介(公益社団法人 地域医療振興協会 台東区立台東病院・老人保健施設千束 薬剤室)
上葛 義浩(藤田医科大学岡崎医療センター)

S6-1 栄養療法の良いところとピットホール

茂木 孝裕(草加市立病院 薬剤部)

S6-2 担がん状態の代謝変化に合わせたアプローチ栄養療法のギアチェンジ、適切なタイミングを見逃さないために

鈴木 慶介(公益社団法人 地域医療振興協会 台東区立台東病院・老人保健施設千束 薬剤室)

S6-3 薬と栄養、ハイブリット療法の実践。～栄養療法はQOLを向上させる！～

伊藤 聡一郎(公立陶生病院 医療技術局 薬剤部)

S6-4 薬剤師が知っておきたい栄養アセスメント なぜ低栄養、サルコペニア、カヘキシアを防ぐべきか？

吉田 貞夫(ちゅうざん病院/金城大学)

シンポジウム 7

療養の場所としての「在宅」における医療の質を高める薬剤師のポテンシャルについて考える

5月27日(土) 9:30～11:00 第7会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホールA])

オーガナイザー：岸本 真(霧島市立医師会医療センター 薬剤部)
座長：岸本 真(霧島市立医師会医療センター 薬剤部)
荒川 隆之(長久堂野村病院 診療支援部 薬剤科)

S7-1 退院調整の際の療養の場所に関する悩み事～とある中小病院の現状より～

池沢 若菜(霧島市立医師会医療センター 薬剤部/霧島市立医師会医療センター 緩和ケアチーム)

S7-2 在宅での化学療法について

中村 薫 (株式会社ナチュラルライフ 木田らいふ薬局)

S7-3 在宅での疼痛緩和について

中島 美紀 ((有)キムラ薬局 本店)

S7-4 患者から見た療養の場所と薬剤師に求めるもの

山口 育子 (認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML)

シンポジウム 8

『超高齢化社会で実践する緩和薬物治療管理について真摯に考えよう！』 ～ ALL 薬剤師で現状と課題を整理し、シームレスな病診薬連携を目指して～

5月27日(土) 13:15～14:45 第7会場 (神戸商工会議所会館 3F「神商ホールA」)

オーガナイザー：竹迫 秀和 (鹿児島市立病院 薬剤部)

脇田 雅子 (ませ調剤薬局)

座長：木村 健 (兵庫医科大学病院 薬剤部)

脇田 雅子 (ませ調剤薬局)

S8-1 医療用麻薬の調剤は医療機関と患者を含めた相互理解の向上が必要～金曜日の夕方のファックスは・・・～

橋村 孝博 (めいぷる薬局)

S8-2 緩和薬物療法における温故知新を次世代へ繋げるために～病院薬剤師からみた緩和薬物療法～

竹迫 秀和 (鹿児島市立病院 薬剤部)

S8-3 各種ガイドラインを活用した疼痛緩和薬物療法の実践

宮部 貴識 (国立病院機構 舞鶴医療センター 薬剤部)

シンポジウム 9

患者力を引き出すために薬剤師ができること～みんなで学ぼう patients empowerment program について～

5月27日(土) 16:30～18:00 第7会場 (神戸商工会議所会館 3F「神商ホールA」)

オーガナイザー：小室 雅人 (国立国際医療研究センター 薬剤部)

東 光久 (奈良県総合医療センター 総合診療科)

座長：小室 雅人 (国立国際医療研究センター 薬剤部)

東 光久 (奈良県総合医療センター 総合診療科)

S9-1 Patients empowerment program (PEP) とは？

東 光久 (奈良県総合医療センター 総合診療科)

S9-2 情報源は、医療者の話よりもテレビ、インターネット !!! ～情報リテラシー問題が生み出す医療用麻薬へのミスリードに薬剤師はどう対応するか～

堀之内 藍 (みやぎ県南中核病院 薬剤部)

S9-3 MAC を活用して患者力を引き出す院内における服薬指導の実践

小室 雅人 (国立国際医療研究センター病院 薬剤部)

S9-4 在宅現場で患者さんと接するにあたり心掛けてきたこと～自身の患者としての経験を通じて～

前田 桂吾 (日本調剤株式会社 在宅医療部)

シンポジウム 10

心と体を蝕む医薬品の不適正使用への理解から適正使用の意義を説く： 正しく使って痛みをとる正義

5月28日(日) 9:00～10:30 第3会場(神戸国際会議場 4F [401+402])

オーガナイザー：森 友久(星薬科大学 薬理学研究室)
座長：森 友久(星薬科大学 薬理学研究室)
井関 雅子(順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

S10-1 内因性オピオイド鎮痛・免疫システム：痛みからの解放という新しい”がん治療”の選択

葛巻 直子(星薬科大学 薬理学研究室)

S10-2 医薬品の乱用・依存の現状と未来に向けた課題

松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)

S10-3 オピオイドという天使が牙をむくとき

山口 重樹(獨協医科大学医学部 麻酔科学講座)

シンポジウム 11

ゲノム医療を応用したポストゲノム緩和医療の試み

5月28日(日) 13:30～15:00 第3会場(神戸国際会議場 4F [401+402])

オーガナイザー：成田 年(星薬科大学 薬理学研究室/国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)
座長：成田 年(星薬科大学 薬理学研究室/国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)
天谷 文昌(京都府立医科大学 疼痛緩和医療学教室)

S11-1 ゲノム情報から読み解く痛みと鎮痛の予測と個人差の理解

池田 和隆((公財)東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野)

S11-2 C-CAT からみるがんゲノム医療の現状と集学的治療に向けたデータ利活用

河野 隆志(国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター(C-CAT))

S11-3 がんポストゲノム医療時代にリンクする新しいがん支持療法の理解と実践

伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター がん包括診療部/薬剤部)

S11-4 がんと共生する社会におけるゲノム緩和医療・支持療法の確立とポストゲノム緩和医療研究の創生

南雲 康行(国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)

シンポジウム 12

緩和医療薬学におけるアカデミック・ディテリングの活用

5月28日(日) 13:30～15:00 第4会場(神戸国際会議場 5F [501])

オーガナイザー：佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)
座長：佐藤 淳也(国際医療福祉大学病院 薬剤部/湘南医療大学 薬学部)
宮崎 美子(戸田中央総合病院 薬剤科)

S12-1 日本アカデミック・ディテリング研究会の活動(総論)

野村 浩子(徳洲会大阪本部 薬剤部/日本アカデミック・ディテリング研究会)

S12-2 緩和領域における薬剤選択に医薬品の科学的特性を活用できるか?

清水 忠(兵庫医科大学 薬学部/日本アカデミックディテリング研究会)

S12-3 アカデミックディテリング資材開発とそれを臨床活用した情報提供コミュニケーションの向上

出雲 貴文(医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部)

S12-4 JASCC/JAD による支持療法リスク低減を目指したアカデミック・ディテリングの Goal

小茂田 昌代 (医療法人徳洲会千葉西総合病院/一般社団法人日本アカデミック・ディテリング研究会/東京理科大学薬学部)

シンポジウム 13 もっと自由であっていい！がん教育

5月28日(日) 9:00～10:30 第5会場(神戸国際会議場 5F [502])

オーガナイザー：横山 郁子 (神戸薬科大学)
沼田 千賀子 (神戸薬科大学 総合教育研究センター)
座長：沼田 千賀子 (神戸薬科大学 総合教育研究センター)

S13-1 もっと自由であっていい！がん教育

横山 郁子 (神戸薬科大学)

S13-2 がん教育 ～若年患者としての外部講師の立場から～

岸田 徹 (NPO 法人がんノート)

S13-3 『多様性のある居場所』～ 賢明なる配慮 ～

樋野 興夫 (順天堂大学)

シンポジウム 14 がん患者のトータルペインに迫る精神科的アプローチ

5月28日(日) 13:30～15:00 第7会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホール A])

オーガナイザー：加藤 剛 (所沢慈光病院薬剤部)
鈴木 順子 (北里大学)
座長：加藤 剛 (所沢慈光病院薬剤部)
鈴木 順子 (北里大学)

S14-1 私が経験したトータルペインから薬学的介入を考える

黒沢 雅広 (昭和大学附属烏山病院/昭和大学薬学部病院薬剤学講座)

S14-2 心と体にやさしいがん治療を支える薬剤師の精神科的アプローチ

菅野 ゆみか (千葉県がんセンター 薬剤部)

S14-3 がん医療における向精神薬の適正使用

野田 幸裕 (名城大学 薬学部 病態解析学 I)

ワークショップ

ワークショップ1

緩和医療に関わる薬剤師のススメ

5月27日(土) 9:00～11:00 第6会場(神戸国際会議場 5F [504+505])

- オーガナイザー：高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院 薬剤部)
井手 直子(帝京平成大学 薬学部)
片山 志郎(日本BCG研究所)
平井 みどり(神戸大学 名誉教授)
座長：平井 みどり(神戸大学 名誉教授)
片山 志郎(日本BCG研究所 所長)
パネリスト：松本 尚(衆議院議員/日本医科大学特任教授)
千堂 年昭(就実大学薬学部特任教授)
ファシリテーター：今村 牧夫(倉敷成人病センター 診療支援部)
内田 まよこ(同志社女子大学 薬学部)
川名 真理子(亀田総合病院 薬剤部)
菅原 英輝(鹿児島大学病院 薬剤部)
中川 左理(神戸学院大学 薬学部)
中川 隼一(東京慈恵会医科大学附属第三病院 薬剤部)
矢野 琢也(住友別子病院 薬剤部)

ワークショップ2

かんわ cafe

5月28日(日) 9:00～11:00 第6会場(神戸国際会議場 5F [504+505])

- オーガナイザー：金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター)
伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター 薬剤部)
座長：伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター 薬剤部)
金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部・緩和ケアセンター)
ファシリテーター：加藤 あゆみ(日本医科大学付属病院 薬剤部)
岸田 悦子(日本医科大学付属病院 薬剤部)
慶 元算(東京女子医科大学附属 足立医療センター)
佐久間 詠理(医療法人社団淳友会わたクリニック)
周治 由香里(東京女子医科大学附属足立医療センター 薬剤部)
長久保 久仁子(株式会社メディカルファーマシー ミキ薬局 日暮里店)
林 隼輔(東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部)
前田 桂吾(日本調剤株式会社)
結城 奈美(東京都済生会中央病院 薬剤部)
大野 朋子(株式会社 ak ホールディングス 上永谷薬局)

ワークショップ3

PCA ポンプと一緒に帰ろう～コロナ禍を経て今、在宅緩和ケアを考える～

5月28日(日) 13:30～15:30 第6会場(神戸国際会議場 5F [504+505])

- オーガナイザー：山田 正実(大阪府済生会野江病院 薬剤科)
小林 篤史(かりん薬局)
座長：山田 正実(大阪府済生会野江病院 薬剤科)
村井 扶(株式会社ゆそえる あげぼの薬局)
ファシリテーター：三浦 篤史(JA 長野厚生連佐久総合病院 薬剤部)
地丸 裕美(大阪府済生会野江病院 薬剤科)
鳥井 小莉(大阪府済生会野江病院 薬剤科)
三羽 尚子(大阪府済生会野江病院 薬剤科)

メディカルセミナー

メディカルセミナー 1 症例から読み解く がん疼痛治療のポイント —アセスメントができれば鎮痛できる

5月27日(土) 11:45～12:45 第1会場(神戸国際会議場 1・B1F [メインホール])

座長: 岡本 禎晃 (市立芦屋病院 薬剤科)

演者: 余宮 きのみ (埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)

第一三共株式会社

メディカルセミナー 2 知っているようで知らない! ? がん疼痛に対するオピオイド鎮痛薬の使い方 up-to-date

5月27日(土) 11:45～12:45 第2会場(神戸国際会議場 3F [国際会議室])

座長: 伊勢 雄也 (日本医科大学付属病院 薬剤部)

演者: 中川 貴之 (和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学)

日本臓器製薬

メディカルセミナー 3 安心・安全ながん疼痛治療薬を再考する～がん患者さんの伴走者として～

5月27日(土) 11:45～12:45 第3会場(神戸国際会議場 4F [401+402])

座長: 石木 寛人 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

演者: 金子 健 (慶應義塾大学病院 薬剤部 / 慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター)

久光製薬株式会社

メディカルセミナー 4 もっと緩和医療薬学, さらに調剤自動化!

5月27日(土) 11:45～12:45 第4会場(神戸国際会議場 5F [501])

座長: 橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院)

演者: 森 和明 (株式会社ユヤマ 学術部)

株式会社ユヤマ

メディカルセミナー 5 高齢者における鎮痛薬の適正使用 ～急性腎障害の原因になるトリプルワ ミーの主演は NSAIDs ? ～

5月27日(土) 11:45～12:45 第5会場(神戸国際会議場 5F [502])

座長: 横田 淳子 (I & H株式会社)

演者: 平田 純生 (日本腎臓病薬物療法学会 / I & H株式会社)

I & H株式会社

メディカルセミナー 6 心不全における薬剤師の役割と漢方にできること

5月27日(土) 11:45～12:45 第7会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールA」)

座長: 室井 延之(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

MS6-1 心不全緩和ケアにおける薬剤師の役割

高井 靖(医療法人三重ハートセンター)

MS6-2 高齢者心不全に対する標準治療+ α

大西 勝也(大西内科ハートクリニック)

株式会社ツムラ

メディカルセミナー 7 睡眠センサーを活用した医師との情報連携 ～訪問薬剤師が行う在宅医療への新たな取り組み～

5月27日(土) 11:45～12:45 第8会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」)

座長: 田浦 貴大(株式会社ソラミチシステム)

演者: 大杉 泰弘(藤田医科大学 総合診療プログラム 豊田地域医療センター)
佐々木 拓也(マイライフ株式会社)

株式会社ソラミチシステム

メディカルセミナー 8 これだけは知っておきたい疼痛治療マネジメント～医療用麻薬から副作用対策まで～

5月28日(日) 12:00～13:00 第1会場(神戸国際会議場 1・B1F「メインホール」)

座長: 中川 貴之(和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学研究室)

演者: 石原 正志(岐阜大学医学部附属病院 薬剤部/先端医療・臨床研究推進センター)

塩野義製薬株式会社

メディカルセミナー 9 がん病態治療における COX 活性制御の新たな意義とその理解

5月28日(日) 12:00～13:00 第2会場(神戸国際会議場 3F「国際会議室」)

座長: 鈴木 勉(湘南医療大学 薬学部)

演者: 成田 年(星薬科大学 薬理学研究室/国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)

あゆみ製薬株式会社

メディカルセミナー 10 緩和薬物療法における薬剤師の役割 ～診療・教育・研究・薬薬連携の充実を目指して～

5月28日(日) 12:00～13:00 第3会場(神戸国際会議場 4F「401+402」)

座長: 鍋島 俊隆(NPO 医薬品適正使用推進機構 理事長/名古屋大学 名誉教授)

演者: 宮崎 雅之(名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)

ゴダイ株式会社

メディカルセミナー 11

がん、緩和領域における薬剤師の活動の value とそれを支える薬剤師人材育成とは？

5月28日(日) 12:00～13:00 第4会場(神戸国際会議場 5F [501])

座長：矢野 育子(神戸大学医学部附属病院 薬剤部)

MS11-1 外来がん薬物療法に係る薬局薬剤師の人財育成の現状と展望

藤田 あゆみ(株式会社 スギ薬局 人材開発部)

MS11-2 多職種協働で支えるがん薬物療法～アウトカムの評価と薬剤師の育成の舞台裏～

池末 裕明(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

株式会社スギ薬局

メディカルセミナー 12

コロナ禍をきっかけに、アセトアミノフェンと NSAIDs の安全性を、薬理学と疫学の視点から再検討してみた！

5月28日(日) 12:00～13:00 第5会場(神戸国際会議場 5F [502])

座長：内田 まやこ(同志社女子大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学教育研究センター)

演者：石塚 洋一(熊本大学 薬学部・大学院生命科学研究部 臨床薬理学分野)

株式会社ハートフェルト

メディカルセミナー 13

腎機能障害患者の薬物療法を科学する - 外来における副作用マネジメントを中心に -

5月28日(日) 12:00～13:00 第7会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホール A])

座長：木村 健(兵庫医科大学病院 薬剤部)

演者：近藤 悠希(熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野(臨床薬理学))

株式会社安全医療システム研究所 / Chemist and Pharmacist / 株式会社 WAVE.PHARMACY.LAB / アサイクル株式会社

メディカルセミナー 14

高齢社会から多死社会へ - 医療 DX の中で、どうする!? 薬局薬剤師 -

5月28日(日) 12:00～13:00 第8会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホール B])

座長：長谷川 佳孝(株式会社アインホールディングス)

演者：稲葉 一郎(株式会社ハートフェルト 薬局セントラルファーマシー長嶺)

株式会社アインホールディングス

スイーツセミナー

スイーツセミナー 1

薬剤師の視点で難治性疼痛へのアプローチ方法を考える ～メサドンを使いこなすために～

5月27日(土) 15:00～16:00 第3会場(神戸国際会議場 4F [401+402])

座長：山口 崇(神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科)

演者：金子 健(慶應義塾大学病院 薬剤部/慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター)

帝國製薬株式会社/テルモ株式会社

スイーツセミナー 2

がん化学療法中のせん妄、不眠、不安への対応

5月27日(土) 15:00～16:00 第4会場(神戸国際会議場 5F [501])

座長：木村 健(兵庫医科大学病院 薬剤部)

演者：岡本 禎晃(市立芦屋病院 薬剤科)

日本化薬株式会社

□頭発表（優秀演題候補）

□頭発表（優秀演題候補）1

5月27日（土） 15:45～16:45 第8会場（神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」）

座長：佐藤 洋美（千葉大学大学院 薬学研究院）
奥田 泰考（自治医科大学附属病院）

優 O1-1 医薬品副作用データベースを用いたオピオイド誘発性せん妄に対する下剤の影響に関する解析

○宮本 朋佳¹⁾、高橋 佳苗²⁾、清水 忠³⁾、細見 光一⁴⁾、桂木 聡子¹⁾

¹⁾ 兵庫医科大学 薬学部 臨床薬学分野、²⁾ 兵庫医科大学 医学部 医療統計学、³⁾ 兵庫医科大学 薬学部 臨床医薬品化学、⁴⁾ 近畿大学 薬学部 医薬品情報学分野

優 O1-2 がん患者におけるルビプロストンの悪心発現に関与する因子の検討

○倉田 陽加¹⁾、田中 怜^{1,2)}、賀茂 佳子¹⁾、佐藤 淳也^{2,3,4)}、森 京子¹⁾、石川 寛¹⁾、篠 道弘¹⁾

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、²⁾ 湘南医療大学 薬学部、³⁾ 国際医療福祉大学病院 薬剤部、⁴⁾ 国際医療福祉大学 薬学部

優 O1-3 終末期の鎮静におけるミダゾラムの最終投与量に影響を与える因子の検討

○高野 陽平¹⁾、田口 宏一²⁾、島田 歩¹⁾、西崎 颯斗¹⁾、上野 英文¹⁾

¹⁾ 砂川市立病院 薬剤部、²⁾ 砂川市立病院 緩和ケア外科

優 O1-4 保険薬局に起因するがん患者の在宅看取りを可能にする因子解析

○関 拓海、坂本 岳志、中村 俊貴、境 美智順、木村 雅彦

あけぼの薬局

優 O1-5 外来患者に対する緩和ケアフォローアップシートの活用と報告内容からみる課題

○芝崎 由美子¹⁾、岩田 絵里¹⁾、小林 律子²⁾、欠端 伶奈³⁾、石川 輝⁴⁾、小峯 修⁵⁾

¹⁾ さいたま市民医療センター 薬剤科、²⁾ さいたま市民医療センター 看護部、³⁾ さいたま市民医療センター リハビリテーション科、⁴⁾ さいたま市民医療センター 内科、⁵⁾ さいたま市民医療センター 外科

□頭発表（優秀演題候補）2

5月27日（土） 16:45～17:57 第8会場（神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」）

座長：荒井 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）
斎藤 優子（フタツカ薬局）

優 O2-1 パクリタキセル誘発機械的アロディニアに対する外用芍薬甘草湯及びペオニフロリンゲルの効果

○安東 嗣修^{1,2)}、黒川 葉好²⁾、加藤 充²⁾、Juntado Mikhasela²⁾

¹⁾ 金城学院大 薬学部、²⁾ 富山大学大学院 学術研究部 薬学・和漢系

優 O2-2 痛みを伴った肺がん病態モデルにおける知覚神経-腫瘍免疫連関異常の解析

○高田 優太郎^{1,2)}、田中 謙一^{1,2)}、眞壁 一志^{1,2)}、須田 雪明^{1,2)}、成田 道子²⁾、濱田 祐輔^{1,2)}、葛巻 直子^{1,2)}、成田 年^{1,2)}

¹⁾ 星薬科大学 薬理学研究室、²⁾ 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野

優 O2-3 非がん性疼痛に対して使用されるオピオイド性鎮痛薬の薬剤師による使用状況モニタリングとその効果

○飯田 真之、志田 有里、番匠 咲帆、大本 暢子、山下 和彦、榎本 博雄、山本 和宏、大村 友博、矢野 育子
神戸大学医学部附属病院 薬剤部

優 O2-4 がん疼痛治療におけるオキシコドンの薬物動態学的多様性に基づく効果的な疼痛管理

○中村 真理子¹⁾、宮崎 雅之^{1,2)}、吉見 陽^{1,2,3)}、山田 清文²⁾、石井 晃⁴⁾、安藤 雄一⁵⁾、野田 幸裕^{1,2,3)}
¹⁾名城大学 大学院 薬学研究科 病態解析学Ⅰ、²⁾名古屋大学 医学部附属病院 薬剤部、
³⁾名城大学 総合研究所 クリニカルオミクスを基盤とするトランスレーショナルリサーチセンター、⁴⁾名古屋大学 大学院 医学系研究科 法医・生命倫理学、⁵⁾名古屋大学 医学部附属病院 化学療法部

優 O2-5 依存性物質が非がん性慢性疼痛における鎮痛薬の使用状況に及ぼす影響

○江草 徳幸、平井 俊明、向井 一樹、藤原 俊輔、吉田 玲、岡野 愛子、檜垣 麻友美、埋橋 賢吾、白井 敦史、磯貝 明彦、中島 恵子
広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院 薬剤部

優 O2-6 ケミカルコーピングが疑われた症例

○渡邊 裕斗、佐橋 春香、兼松 友紀、松由 幸司、長谷部 千夏、宮部 芳之、塚原 民夫
岐阜県立多治見病院 薬剤部

□頭発表（一般□演）

□頭発表 1 鎮痛薬の副作用

5月27日（土） 9:30～10:30 第8会場（神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」）

座長：岩根 裕紀（京都桂病院 薬剤科）
西迫 多重（きりん薬局）

O1-1 オピオイド誘発便秘症に対する簡易懸濁法によるナルデメジン投与の効果

○財満 文¹⁾、大塚 晋也¹⁾、柴 さや香¹⁾、泉澤 友宏¹⁾、林 隼輔¹⁾、齋藤 高子¹⁾、蔭山 博之¹⁾、濱口 明彦²⁾、長谷川 英雄¹⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部、²⁾東京慈恵会医科大学附属柏病院 腎臓・高血圧内科

O1-2 オピオイド誘発性便秘症（OIC）治療薬ナルデメジンについて当院の現状

○岸田 悦子、伊勢 雄也
日本医科大学付属病院 薬剤部

O1-3 ケミカルコーピングが認められ、注射剤から経口剤へスイッチング後、オピオイド離脱に成功した一例

○原 詳子、田口 智江、秋本 圭子
青葉薬局

○1-4 シスプラチン投与に対するステロイドフリーによる制吐療法の有効性及び安全性の検討

○坂田 幸雄¹⁾、吉田 壘¹⁾、神 佳祐¹⁾、村永 諒¹⁾、山本 いずみ¹⁾、中嶋 紘文¹⁾、辻 大樹²⁾、小林 道也³⁾

¹⁾ 市立函館病院 薬剤部 薬物療法科、²⁾ 静岡県立大学 薬学部、³⁾ 北海道医療大学 薬学部 薬剤学講座

○1-5 アビラテロン服用中の前立腺がん患者の血圧上昇にエプレレノンが奏功した一症例

○福岡 純¹⁾、藤田 あゆみ²⁾、杉浦 伸哉²⁾、小林 徹也³⁾、伊津田 知樹⁴⁾

¹⁾ スギ薬局 昭和町駅前店、²⁾ 株式会社 スギ薬局、³⁾ スギ薬局 川越鴨田店、⁴⁾ スギ薬局 新金岡店

□頭発表 2 疼痛管理 1

5月27日(土) 10:30～11:30 第8会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」)

座長：祝 千佳子(東京大学大学院 医学系研究科 臨床疫学・経済学)

田中 育子(市立芦屋病院 薬剤科)

○2-1 ヒドロモルフォン注射剤からのスイッチング症例における換算比の検討

○美濃部 奈都^{1,2)}、光 真理子^{1,2)}、鋤田 千草²⁾、中村 直美²⁾、花木 宏治^{1,3)}

¹⁾ 滋賀県立総合病院 緩和ケアチーム、²⁾ 滋賀県立総合病院 薬剤部、³⁾ 滋賀県立総合病院 緩和ケア科

○2-2 高用量オピオイド注射液投与も除痛効果が得られなかった終末期がん患者に鎮痛補助薬が著効した症例

○大塚 みゆき、池田 里江子、宮守 真大

ふれあい薬局岩槻店

○2-3 院内製剤 10% リドカインゲルの有効性と安全性に関する後ろ向き観察研究

○菅谷 香緒里、神山 直也、眞鍋 貴行、山本 譲、中馬 真幸、田崎 嘉一

旭川医科大学病院 薬剤部

○2-4 ALS 患者の下肢疼痛に対しプレガバリンを主軸とした薬物ケアで看取りまでコントロールできた一例

○渡邊 大誠

Vdrug 高山中央薬局

○2-5 がん患者に対するジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の有用性

○淡路 健作^{1,4)}、中瀬 里美^{1,4)}、滝澤 聖子^{2,4)}、杖下 隆哉^{3,4)}

¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院 薬剤部、²⁾ 日本医科大学多摩永山病院 看護部、³⁾ 日本医科大学多摩永山病院 麻酔科、⁴⁾ 日本医科大学多摩永山病院 緩和ケアチーム

口頭発表 3 疼痛管理 2

5月27日(土) 13:00～14:00 第8会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホール B])

座長: 杉浦 宗敏(東京薬科大学 薬学部 医薬品安全管理学教室)
山中 幸典(イワオ薬局 日赤前ミタス伊勢店)

03-1 痛覚閾値の性差に及ぼすアンドロゲンの影響

○木口 倫一¹⁾、鈴木 堅太郎²⁾、日野 信次朗³⁾

¹⁾ 和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室、²⁾ 山梨大学生命環境学部 器官形成ダイナミクス研究室、³⁾ 熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野

03-2 ミクログリア細胞における受容体運搬タンパク質 RTP4 の遺伝子誘導とモルヒネ鎮痛耐性

○藤田 和歌子¹⁾、黒岩 祐介²⁾、川西 雅史²⁾

¹⁾ 長崎大学 医歯薬学総合研究科 医科薬理学分野、²⁾ 長崎大学 医歯薬学総合研究科 創薬薬理学分野

03-3 在宅療養中のがん終末期患者に硬膜外自己調節鎮痛法と自己調節鎮痛法を併用し疼痛コントロールを行った一例

○新井 智春、池田 里江子、友成 康二、岡野 さやか

ふれあい薬局 飯能店

03-4 がん性痛に対するオピオイド導入薬としての μ オピオイド注射薬+トラマドール注射薬配合薬の使用経験

○佐藤 哲観^{1,3)}、佐藤 哲^{2,3)}、田中 怜^{2,3,4)}、賀茂 佳子²⁾、天田 斉子^{2,3)}、磯岡 奈未^{2,3)}、伊藤 和磨^{2,3)}

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科、²⁾ 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、³⁾ 静岡県立静岡がんセンター 緩和ケアチーム、⁴⁾ 湘南医療大学 薬学部

03-5 間質性肺炎の急性増悪にメサドンとステロイドの相互作用が関与したと疑われた症例

○姜 元美¹⁾、奥津 輝男²⁾、秋山 幸子¹⁾、新戸 義之¹⁾

¹⁾ 医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 薬剤科、²⁾ 奥田外科胃腸科クリニック 訪問診療部

口頭発表 4 がんに関連する症状緩和

5月27日(土) 14:00～15:00 第8会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホール B])

座長: 川上 和宜((公財)がん研有明病院)
江口 真理子((株)大賀薬局 野芥調剤店)

04-1 がん病態下におけるうつの改善を目指したがん病態モデルにおける脳内セロトニン産生経路異常の解析

○水口 くるみ^{1,2)}、須田 雪明^{1,2)}、渡邊 諒¹⁾、松山 富貴子^{1,3)}、成田 道子²⁾、濱田 祐輔^{1,2)}、葛巻 直子^{1,2)}、杉浦 悠毅⁴⁾、成田 年^{1,2)}

¹⁾ 星薬科大学 薬理学研究室、²⁾ 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、³⁾ 日本小動物医療センター、⁴⁾ 京都大学 医学研究科 附属がん免疫総合研究センター マルチオミクスプラットフォーム

04-2 がん病態における睡眠障害の改善をめざした視床下部ヒスタミン産生経路異常の解析

○長谷川 潤¹⁾、須田 雪明^{1,2)}、渡邊 諒¹⁾、松山 富貴子^{1,3)}、成田 道子²⁾、濱田 祐輔^{1,2)}、葛巻 直子^{1,2)}、杉浦 悠毅⁴⁾、成田 年^{1,2)}

¹⁾ 星薬科大学 薬理学研究室、²⁾ 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野、
³⁾ 日本小動物医療センター、⁴⁾ 京都大学 医学研究科 附属がん免疫総合研究センター マルチオミクスプラットフォーム

04-3 トラマドール塩酸塩／アセトアミノフェン配合錠を服用して幻覚等を生じた在宅高齢がん患者～精神症状コントロールに貢献できた1症例～

○加藤 剛¹⁾、星野 雅人¹⁾、宗像 彩香¹⁾、澤口 真紀¹⁾、鈴木 順子²⁾

¹⁾ 所沢慈光病院薬剤部、²⁾ 北里大学

04-4 当院緩和ケア病棟でのプロナンセリン貼付剤の使用経験

○木下 貴司

長野中央病院 薬局

04-5 がん化学療法施行中の患者における精神症状を緩和するための公認心理師との連携フローチャートの構築

○成田 浩気¹⁾、木本 真司¹⁾、香内 綾¹⁾、河原 史明¹⁾、齋藤 浩司¹⁾、富山 瑠美¹⁾、峯岸 智之¹⁾、石橋 和幸²⁾、林 薫²⁾、石本 由美³⁾、武藤 由美³⁾

¹⁾ 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 薬剤科、²⁾ 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 心理室、³⁾ 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 看護部

口頭発表 5 チーム医療 1

5月28日(日) 9:00～10:00 第8会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」)

座長：天方 奉子(株式会社ハートフェルト 薬局セントラルファーマシー長嶺)
八木 貴彦(浜松医療センター 薬剤科)

05-1 末期がん患者に対して迅速にオピオイドスイッチング(OS)とタイトレーションを行い自宅退院が可能となった1例

○福島 与詩香¹⁾、加藤 あゆみ¹⁾、岡村 由美子²⁾、鈴木 規仁³⁾、伊勢 雄也¹⁾

¹⁾ 日本医科大学付属病院 薬剤部、²⁾ 日本医科大学付属病院 看護部、³⁾ 日本医科大学付属病院 緩和ケア科

05-2 疼痛緩和により自立した日常生活を取り戻すことに繋がったメサドン使用患者の一症例

○宮崎 百合^{1,4)}、星野 圭太^{2,4)}、日下部 明彦^{3,4)}、馬場 裕之^{4,5)}、松本 卓^{4,6)}、井口 恵美子¹⁾

¹⁾ 横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部、²⁾ 横浜市立みなと赤十字病院 看護部、³⁾ 横浜市立大学総合診療医学、⁴⁾ 横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケアチーム、⁵⁾ 横浜市立みなと赤十字病院 救急外科／がんセンター緩和ケア部、⁶⁾ 横浜市立みなと赤十字病院 リハビリテーション科

05-3 オピオイドの副作用対策における緩和ケアチームオピオイド回診の効果

○桐林 美緒^{1,2)}、上島 幸子³⁾、篠田 佳子^{1,2)}、中原 慎平^{1,2)}、金田 美咲緒²⁾、秋山 芳伸¹⁾

¹⁾ 国家公務員共済組合連合会立川病院 緩和ケアチーム、²⁾ 国家公務員共済組合連合会立川病院 薬剤科、³⁾ 国家公務員共済組合連合会立川病院 看護部

O5-4 管理面で慎重を期したために患者に不信感を与えた麻薬自己管理事例～麻薬管理者の視点から～

○椎崎 正秀¹⁾、原口 勝²⁾

¹⁾ みどりの杜病院 薬剤科、²⁾ みどりの杜病院 ホスピス緩和ケア科

O5-5 多職種協働による電動式小型 PCA ポンプ導入と地域連携

○坪谷 綾子^{1,5)}、金 龍児²⁾、藤田 育也²⁾、伊藤 優子^{3,5)}、石井 将光^{4,5)}、朝倉 武士⁴⁾、伊藤 由香¹⁾

¹⁾ 川崎市立多摩病院 薬剤部、²⁾ 川崎市立多摩病院 クリニカルエンジニア部、³⁾ 川崎市立多摩病院 看護部、⁴⁾ 川崎市立多摩病院 消化器・一般外科、⁵⁾ 川崎市立多摩病院 緩和ケアチーム

□頭発表 6 チーム医療 2

5月28日(日) 10:00～11:00 第8会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」)

座長：宇野 達也(ヤナセ薬局)

杉浦 聡(株式会社おかやま薬局)

O6-1 多職種チームによる不眠時・不穏時指示の導入と転倒率、身体拘束率の変化について

○吉本 翔太郎¹⁾、宮林 佐知²⁾、坂原 麻美子³⁾、竹迫 弥生⁴⁾、河野 裕太⁵⁾

¹⁾ 公立阿伎留医療センター 薬剤科、²⁾ 公立阿伎留医療センター 看護部、³⁾ 公立阿伎留医療センター 地域連携室、⁴⁾ 公立阿伎留医療センター 総合内科 科長、⁵⁾ 公立阿伎留医療センター 緩和治療科 科長

O6-2 薬剤師によるアドバンス・ケア・プランニングの院内体制構築とがん患者への関わり

○杉山 弘樹¹⁾、志田 優璃¹⁾、中田 淳也¹⁾、高木 陽子²⁾、杉山 美和²⁾、市村 菜穂²⁾、梶浦 やすえ²⁾、宮城島 知弘²⁾、田茂 直子³⁾、臼井 幸男⁴⁾、原田 晴司¹⁾

¹⁾ 静岡市立清水病院 薬剤部、²⁾ 同 看護部、³⁾ 同 地域医療支援室、⁴⁾ 同 泌尿器科

O6-3 当院における麻薬関連インシデント発生状況と麻薬 WG 活動について

○鈴木 友宜¹⁾、浦田 美穂子²⁾、高橋 美香²⁾、伊藤 剛貴³⁾、茂木 孝裕³⁾、木村 直也³⁾

¹⁾ 草加市立病院 緩和ケア科、²⁾ 草加市立病院 看護部、³⁾ 草加市立病院 薬剤部

O6-4 当院で外来がん化学療法およびがん性疼痛緩和目的で通院する患者に対して外来担当薬剤師が介入した成果と有効性の評価

○中野 悠馬、松本 梨華、加藤 水月、岡田 侑奈、大野 豊

IMS <イムス>グループ 行徳総合病院 薬剤部

O6-5 当院緩和ケア病棟における調節型鎮静の実施状況と患者背景調査

○秋山 幸子^{1,2)}、姜 元美^{1,2)}、添田 遼^{2,3)}、新柳 義之¹⁾

¹⁾ 鶴巻温泉病院 薬剤科、²⁾ 鶴巻温泉病院 緩和ケアチーム、³⁾ 鶴巻温泉病院 リハビリテーション部

□頭発表 7 緩和医療薬教育

5月28日(日) 11:00～11:36 第8会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」)

座長：芝崎 由美子(さいたま市民医療センター 薬剤科)
清水 真弓(聖隷浜松病院 薬剤部)

07-1 薬剤師による緩和ケア病棟看護実習生に対する講義の実施とその有用性

○富吉 博也¹⁾、石原 友貴¹⁾、山岡 彩¹⁾、石津 のり子²⁾、松永 清志²⁾、小原 弘之³⁾

¹⁾ 廿日市記念病院 臨床薬剤科、²⁾ 廿日市記念病院 看護部、³⁾ 廿日市記念病院 診療部

07-2 薬学実習生から見た緩和ケアチーム～チームのカンファレンス、回診に継続的に参加しての感想から～

○大木 健史¹⁾、藤森 央基¹⁾、宮崎 佑介¹⁾、金枝 藍²⁾、渡邊 大輔²⁾、保坂 真紀²⁾、
小幡 里美²⁾、安室 千鶴²⁾、下清水 博明²⁾、清水 わか子²⁾

¹⁾ 君津中央病院 医療技術局 薬剤科、²⁾ 君津中央病院 緩和ケアチーム

07-3 薬局薬剤師に対する緩和ケアの相談支援体制の必要性と実行可能性の調査

○土井 真喜¹⁾、佐藤 由美²⁾、飛鷹 範明³⁾、文 靖子⁴⁾、岡本 晃典⁵⁾、国分 秀也⁶⁾

¹⁾ 株式会社メディカルシステムネットワーク 地域薬局事業部、²⁾ まちほけ薬局、³⁾ 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部、⁴⁾ 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課、⁵⁾ 北陸大学 薬学部、⁶⁾ 東京薬科大学 薬学部

□頭発表 8 地域連携・在宅医療

5月28日(日) 13:30～14:18 第8会場(神戸商工会議所会館 3F「神商ホールB」)

座長：眞田 香帆里(株式会社ハーモニー ハーモニー薬局)
土井 教雄(島根大学医学部附属病院 薬剤部)

08-1 緩和ケア病棟における退院支援への関わりと課題

○香川 実咲、中島 彰子、橋本 律香、河井 美佐季、溝渕 あゆみ、永尾 香菜子、
出口 有佳理、宝田 繁基、安部 浩美

香川県立中央病院 薬剤部

08-2 取り下げ

08-3 当院におけるトレーシングレポート対応への取り組みとがん関連トレーシングレポートの実態と課題

○柏原 由佳^{1,2)}、喜田 昌記^{1,2)}、永田 卓也^{1,2)}、渡邊 亜矢子^{1,2)}、佐伯 美沙^{1,2)}、田中 章久¹⁾

¹⁾ 昭和大学江東豊洲病院 薬剤部、²⁾ 昭和大学 薬学部 病院薬剤学

08-4 PCA ポンプの使用がストレスとなり疼痛緩和の困難化を招いたと考えられる1症例

○山本 侑記¹⁾、林 智子¹⁾、和田 憲周²⁾

¹⁾ 一般社団法人 泉州メディカ 協和薬局、²⁾ 一般社団法人 泉州メディカ 本部事務局

08-5 在宅でくも膜下鎮痛法を行った症例の報告

○二村 直行、東尾 祐希

クルミ薬局2号店

口頭発表 9 在宅医療

5月28日(日) 14:30～15:30 第8会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホールB])

座長：宮田 広樹(日本調剤株式会社 教育情報部)
中尾 みどり(慶應義塾大学病院 薬剤部)

09-1 ドブタミン依存状態の末期心不全患者を在宅で看取りまで対応した1症例

○西尾 洋紀¹⁾、平田 恭洋¹⁾、藤岡 要彰¹⁾、熊谷 岳文²⁾、三上 頌太²⁾

¹⁾ 株式会社ファーマシィ ファーマシィ薬局引野、²⁾ 株式会社ファーマシィ ファーマシィ薬局すこやか

09-2 地域薬局の緩和在宅応需に向けた無菌調製設備導入に対する考察

○黒田 雅子、古川 史佳、藤島 美菜、中藤 弘子、保土田 裕子
有限会社 黒田薬局

09-3 医療用麻薬注射を使用する患者で経験したへき地医療の問題点

○吉村 光弘
調剤薬局マリーン マキノ病院前店

09-4 自宅療養に不安を抱えるがん終末期患者・家族を、かかりつけ医・訪問看護師との連携・協働により薬剤師在宅訪問管理指導で支えた一例

○小野 光子
善快堂薬局 山城店

09-5 抗菌薬持続投与とジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の導入により在宅移行が可能となった小腸穿孔を伴った後腹膜腫瘍の1症例

○井上 卓治¹⁾、三堀 葉子²⁾、小池 隆夫³⁾、西尾 洋紀⁴⁾、平田 恭平⁴⁾、田内 栄美子⁵⁾

¹⁾ 沼隈病院 薬剤課、²⁾ 沼隈病院 地域医療支援センター、³⁾ 沼隈病院 総合診療科、⁴⁾ ファーマシィ薬局引野、⁵⁾ まり訪問看護ステーション

口頭発表 10 在宅医療・薬物動態・相互作用・その他

5月28日(日) 15:30～16:18 第8会場(神戸商工会議所会館 3F [神商ホールB])

座長：谷藤 由佳(あおぞら薬局)
島本 一志(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 薬局)

010-1 オクトレオチド皮下注使用中のイレウス併発患者が、薬薬連携により化学療法を継続できた一症例

○西村 淳
日本調剤 香川大前薬局

010-2 在宅医療においてクモ膜下よりモルヒネ注とブピバカイン注を投与した一例

○宇野 達也
ヤナセ薬局

010-3 セロトニン症候群がセルトラリンとトラマドール併用で発症し、化学療法時のパロノセトロン投与にて増悪し診断し得た1例：突発する気分不良やアカシジアに注意

○松田 燦徳、吉本 鉄介、久田 純生、江口 真澄、山本 圭一、木下 弘幸
JCHO 中京病院

○10-4 受容体データベース BidingDB の有用性、および副作用データベースとの統合に関する検討

○細谷 龍一郎^{1,3)}、野澤 (石井) 玲子²⁾、植沢 芳広³⁾

¹⁾ 武蔵野赤十字病院 薬剤部、²⁾ 明治薬科大学 薬理学研究室、³⁾ 明治薬科大学 医療分子解析学研究室

ポスター発表 (優秀演題候補)

ポスター発表 (優秀演題候補) 1

5月27日 (土) 16:00 ~ 17:00 ポスター会場 (神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 増田 多加子 (東京薬科大学)

優 P1-1 疼痛時の超音波音源を用いた心理的ストレスにより誘発される痛覚過敏と炎症性疼痛への影響

○笠井 智香¹⁾、吉澤 一巳¹⁾、鶴飼 サキ¹⁾、黒田 純平¹⁾、山内 つぐみ²⁾、山田 大輔²⁾、
斎藤 顕宜²⁾、入山 聖史³⁾、西野 彰一⁴⁾、中野 義雄⁵⁾、宮崎 智⁵⁾

¹⁾ 東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室、²⁾ 東京理科大学 薬学部 薬理学研究室、³⁾ 東京理科大学 創域理工学部 量子情報学研究室、⁴⁾ 株式会社フジミック、⁵⁾ 東京理科大学 薬学部 生命情報科学研究室

優 P1-2 担がんモデルマウスを用いたがん疼痛モデルの作製と評価

○川添 裕香¹⁾、笠井 智香¹⁾、藤塚 亮次^{2,3)}、坂田 壮太^{2,3)}、寺島 裕也²⁾、斎藤 顕宜³⁾、
吉澤 一巳¹⁾

¹⁾ 東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室、²⁾ 東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門、³⁾ 東京理科大学 薬学部 薬理学研究室

優 P1-3 外因的ストレス負荷によるがん病態の変容解析: 痛みの残存によるがん細胞内細胞保護分子の発現変動

○藤原 永登¹⁾、大井 萌々子¹⁾、濱田 祐輔^{1,2)}、吉田 小莉¹⁾、田中 謙一¹⁾、葛巻 直子^{1,2)}、
森 友久¹⁾、成田 年^{1,2)}

¹⁾ 星薬科大学薬学部薬学科、²⁾ 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野

優 P1-4 μ オピオイド受容体選択的拮抗薬単独と薬によるマウス動機付け行動への影響

○北中 純一¹⁾、北中 順恵²⁾、富田 和男³⁾、五十嵐 健人³⁾、荒井 香奈代²⁾、竹原 薫生子²⁾、
仲井 聖典¹⁾、濱名 貴大¹⁾、松田 健太郎¹⁾、湯瀬 祥¹⁾、佐藤 友昭³⁾

¹⁾ 兵庫医科大学 薬学部 医療薬学科 薬物中毒治療学研究室、²⁾ 兵庫医科大学 医学部 薬理学講座、³⁾ 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 歯科応用薬理学分野

優 P1-5 当院におけるジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況等の後方視的調査

○岩崎 祐子、井上 玲香、渡邊 美紀

姫路聖マリア病院 薬剤部

優 P1-6 がん疼痛治療におけるオキシコドン徐放錠とタペントール徐放錠の併用効果に関する検討

○賀茂 佳子¹⁾、田中 怜^{1,2)}、磯岡 奈未^{1,3)}、天田 斉子¹⁾、佐藤 哲¹⁾、佐藤 哲観⁴⁾、
佐藤 淳也^{2,5,6)}、篠 道弘¹⁾

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、²⁾ 湘南医療大学 薬学部、³⁾ メイプル薬局、⁴⁾ 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科、⁵⁾ 国際医療福祉大学病院 薬剤部、⁶⁾ 国際医療福祉大学 薬学部

優 P1-7 AYA 世代患者の疼痛コントロール中にケミカルコーピングが疑われた一症例

○山内 舞香、三松 史野、實光 由香、内藤 舞、小野 勝、村岡 淳二
京都市立病院 薬剤科

ポスター発表（優秀演題候補）2

5月27日（土） 16:00～17:00 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：大東 敏和（広島大学病院 薬剤部）

優 P2-1 がん性疼痛に対して先行オピオイドにメサドンを上乗せした1例

○赤星 真広、佐多 照正、森岡 友美、中村 有莉恵
鹿児島厚生連病院 薬剤科

優 P2-2 単施設におけるオピオイド導入時のレスキュー薬の使用実態調査

○橋本 百世¹⁾、東影 春花²⁾、中川 左理^{1,2)}、松本 真里奈²⁾、河野 真揮枝³⁾、松田 良信³⁾、
岡本 禎晃¹⁾
¹⁾ 市立芦屋病院 薬剤科、²⁾ 神戸学院大学 薬学部、³⁾ 市立芦屋病院 緩和ケア内科

優 P2-3 慢性維持透析をしているがん患者のオピオイド使用状況の分析

○高橋 理智^{1,2)}、宮下 光令²⁾、三浦 靖彦³⁾
¹⁾ TMG 本部 横浜支部 横浜がん化学療法・緩和医療支援室、²⁾ 東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野、³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部

優 P2-4 OPRM1 A118G 多型を活用したオピオイド個別化治療に向けた前向き観察研究

○竹村 美穂^{1,2)}、仁木 一順^{1,2)}、岡本 禎晃²⁾、松田 良信³⁾、河野 真揮枝³⁾、池田 賢二¹⁾、
上田 幹子¹⁾
¹⁾ 大阪大学大学院 薬学研究科、²⁾ 市立芦屋病院 薬剤科、³⁾ 市立芦屋病院 緩和ケア内科

優 P2-5 ミロガバリンの中枢神経系関連有害事象に関する観察研究 - プレガバリンからの切り替え症例における検討 -

○武道 涼平¹⁾、本間 雅士¹⁾、太田 智博¹⁾、平塚 公己¹⁾、中込 梢¹⁾、川野 千尋²⁾、
平山 武司^{2,3)}、金井 昭文⁴⁾、尾鳥 勝也^{1,2)}
¹⁾ 北里大学病院 薬剤部、²⁾ 北里大学薬学部、³⁾ 北里研究所病院薬剤部、⁴⁾ 北里大学医学部付属
新世紀医療開発センター

優 P2-6 短腸症候群患者の疼痛コントロールに難渋した1例

○加藤 水月、中野 悠馬、松本 梨華、岡田 侑奈、大野 豊
IMS <イムス>グループ 行徳総合病院 薬剤部

優 P2-7 「医療用麻薬用薬剤自己管理金庫」の開発と使用感アンケート調査及び医療従事者の医療用麻薬自己管理に関する意識調査

○和田 紀子^{1,2,3)}、平嶋 志穂^{1,3)}、仁尾 祐太^{1,2,3)}、山口 芽衣^{1,2,3)}、我妻 志保³⁾、本間 織重³⁾、
高橋 彩子³⁾、横山 和彦³⁾、嶋村 弘史^{1,2)}
¹⁾ 昭和大学病院 薬剤部、²⁾ 昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座、³⁾ 昭和大学病院 緩和ケアチーム

ポスター発表（優秀演題候補）3

5月27日（土） 17:00～18:00 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：小澤 康久（湘南鎌倉総合病院 薬剤部）

優 P3-1 身体的苦痛と精神的苦痛に与える諸症状の影響と苦痛と感ずる症状の発現パターンの解析

○志田 敏宏^{1,4)}、安藤 智七美^{1,4)}、豊田 優^{1,4)}、小野 崇^{2,4)}、伊藤 麻里^{3,4)}、鹿野 たかね^{3,4)}、小倉 次郎¹⁾、山口 浩明¹⁾

¹⁾ 山形大学 医学部 附属病院 薬剤部、²⁾ 山形大学 医学部 附属病院 放射線治療科、³⁾ 山形大学 医学部 附属病院 看護部、⁴⁾ 山形大学 医学部 附属病院 緩和ケアチーム

優 P3-2 がん患者を対象とした治験に参加する患者の疼痛コントロールに関する実態調査

○石田 ゆり¹⁾、長井 一将¹⁾、森山 菜緒¹⁾、細野 浩之¹⁾、深川 剛生^{1,2)}

¹⁾ 帝京大学医学部附属病院 臨床試験・治験統括センター、²⁾ 帝京大学 医学部 外科学講座

優 P3-3 当院におけるナルデメジン使用指針作成による使用状況の変化

○茂原 圭佑、中川 隼一、皆川 卓也、清 彩佳、島崎 博士、平島 徹
東京慈恵会医科大学附属第三病院 薬剤部

優 P3-4 経口モルヒネ投与中に生じた癌性腹膜炎による麻痺性イレウスに対し、エリスロマイシンが有効であった1例

○番場 麻菜美^{1,2)}、相内 志織^{1,2)}、加藤 香穂^{1,2)}、柳本 千景²⁾、太田 智裕^{2,3)}、山本 章二¹⁾、的場 元弘^{2,3)}

¹⁾ 青森県立中央病院 薬剤部、²⁾ 青森県立中央病院 緩和ケアチーム、³⁾ 青森県立中央病院 緩和医療科

優 P3-5 オピオイド導入患者におけるナルデメジン使用後の下剤の変化

○岡部 由美、内田 信之、田中 肇、笹本 肇
原町赤十字病院

優 P3-6 非小細胞肺癌患者におけるアナモレリンの使用実態調査

○永井 良、安達 俊江、形部 文寛、原 太一
独立行政法人 国立病院機構 山口宇部医療センター

優 P3-7 低血糖症に対してステロイドの投与量調節に関わり退院につながった大腸がん患者の1症例

○尾形 美絵、近藤 和宏、羽生 智宏、新関 みどり、長澤 欣弘、瀧内 瑛輔、中村 槇一郎、田村 和彦

大分県済生会日田病院 薬剤部

ポスター発表（優秀演題候補）4

5月27日（土） 17:00～18:00 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：白石 丈也（（有）メディックス白石けや木薬局）

優 P4-1 専門医療機関からの情報提供に基づき薬局薬剤師が適切なフォローアップを実施したことで外来がん化学療法を完遂できた一症例

○宮脇 彩¹⁾、吉田 達司¹⁾、山本 雅弘⁴⁾、小林 徹也⁵⁾、伊津田 知樹³⁾、藤田 あゆみ²⁾、杉浦 伸哉²⁾

¹⁾ 株式会社スギ薬局 名古屋大学病院店、²⁾ 株式会社スギ薬局、³⁾ 株式会社スギ薬局 新金岡店、⁴⁾ 株式会社スギ薬局 蔵子店、⁵⁾ 株式会社スギ薬局 川越鴨田店

優 P4-2 市立伊丹病院における薬剤師－看護師連携による外来患者の疼痛コントロールの取り組み

○千原 里美¹⁾、中尾 夕美¹⁾、山下 加奈²⁾、福井 幸代²⁾

¹⁾ 市立伊丹病院薬剤部、²⁾ 市立伊丹病院看護部

優 P4-3 保険薬局における医療用麻薬の有効利用に向けた課題

○土井 信幸¹⁾、小見 暁子¹⁾、秋山 滋男²⁾

¹⁾ 高崎健康福祉大学 薬学部 地域医療薬学研究室、²⁾ 東京薬科大学 薬学部 実務実習教育センター

優 P4-4 在宅緩和医療に対応できる保険薬局のネットワークの構築と病院・診療所薬剤師のかかわり

○長谷 圭悟^{1,2)}、田中 宏範³⁾

¹⁾ 八尾市立病院 がん診療支援室緩和ケアセンター、²⁾ 同 地域医療連携室、³⁾ 田中のリクニック

優 P4-5 筋萎縮性側索硬化症患者における呼吸困難感緩和に対するモルヒネ製剤投与の一例

○島田 颯¹⁾、井上 示子¹⁾、渡部 雄紀¹⁾、疋田 ちよ恵²⁾、平井 郁里³⁾

¹⁾ 株式会社メディカルガーデン ガーデン薬局西口店、²⁾ 医療法人社団平郁会 青野診療所、³⁾ 看護クラーブ鷺沼

優 P4-6 学年縦断的がん教育における6年間の知識定着率とがん患者へのイメージの変化

○藤原 由佳理¹⁾、横山 郁子¹⁾、横橋 明日賀¹⁾、國正 淳一¹⁾、藤本 佳昭²⁾、河内 正二¹⁾、沼田 千賀子¹⁾

¹⁾ 神戸薬科大学、²⁾ 神戸大学附属中等教育学校

ポスター発表（一般ポスター）

ポスター発表 1 基礎研究・疼痛管理

5月27日（土） 16:00～17:00 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：濱田 祐輔（星薬科大学 薬理学研究室）

P1-1 当院におけるジクロフェナクナトリウム貼付剤の使用実態調査

○上村 友紀子、原田 利江、岩倉 弥生子、合田 明博

鹿児島共済会 南風病院 薬剤部

- P1-2 オキサリプラチン誘発冷感過敏反応に対するアセトアミノフェンの抑制効果とカンナビノイド受容体の関与
○飛鷹 範明、山下 登、田中 守
愛媛大学 医学部 附属病院 薬剤部
- P1-3 全身作用型ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用実態調査
○富山 直敏、谷 章子、新宮 行雄
松江赤十字病院 薬剤部
- P1-4 当院におけるジクトルテープの使用状況調査・検討について
○後藤 総太郎、添田 侑希、米窪 恭子、肥沼 理映子、山村 康比古
東京都立駒込病院 薬剤科
- P1-5 腓頭部癌の右前胸部皮膚転移部の疼痛に対して、リドカイン混合ワセリンが著効した1例
○藤井 稚奈、宮本 翔子、山川 智一、秦 いづみ、北山 智美、今出 雅博、小林 佑佳、酒井 美紀子、佐貫 直子、児玉 秀治
三重県立総合医療センター 緩和ケアチーム
- P1-6 当院におけるジクロフェナクナトリウム貼付剤の使用状況調査
○奥田 真由美^{1,4)}、折井 修子^{2,4)}、中村 典明^{3,4)}
¹⁾ 秀和総合病院 薬剤部、²⁾ 看護部、³⁾ 外科、⁴⁾ 緩和ケアチーム
- P1-7 当院における全身性経皮吸収型ジクロフェナクナトリウムテープの使用実態調査
○畑 加奈子¹⁾、萩原 里美¹⁾、村本 慎悟¹⁾、細瀧 喜代志²⁾、佐藤 彰洋³⁾、田宮 貞宏³⁾
¹⁾ くまもと県北病院 薬剤部、²⁾ くまもと県北病院 総合外科、³⁾ くまもと県北病院 総合診療科
- P1-8 終末期がん患者に対するジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤貼付に伴う熱型変化のさらなる探索
○嶽小原 恵¹⁾、松野 優紀¹⁾、折笠 瞬¹⁾、池永 昌之²⁾
¹⁾ 淀川キリスト教病院 薬剤部、²⁾ 淀川キリスト教病院 緩和医療内科

ポスター発表 2 疼痛管理 (1)

5月27日(土) 16:00～17:00 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 後藤 愛実(大阪医科薬科大学病院 薬剤部)

- P2-1 オピオイド初回服用患者の有害事象の発現調査
○仁尾 祐太^{1,2)}、和田 紀子^{1,2)}、百 賢二²⁾、平嶋 志穂¹⁾、嶋村 弘史^{1,2)}
¹⁾ 昭和大学病院 薬剤部、²⁾ 昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座
- P2-2 予測可能な突出痛に対してフェンタニル口腔粘膜吸収剤の予防投与により疼痛コントロールが可能となった一例
○村上 綾、福井 愛子、竹内 健太、平田 敦士
近畿大学奈良病院 薬剤部

P2-3 乳がん患者のがん疼痛コントロールはパンデミックの影響を受けるのか

○飯田 萌子¹⁾、杉山 洋介¹⁾、田崎 慶彦¹⁾、三村 佳久¹⁾、小田切 州広¹⁾、木村 優花¹⁾、伊藤 菜浪¹⁾、堀田 康弘²⁾、日比 陽子^{1,2)}

¹⁾ 名古屋市立大学病院 薬剤部、²⁾ 名古屋市立大学大学院 医学研究科 臨床薬理学

P2-4 オピオイドの鎮痛耐性およびオピオイドコーピングの可能性がありコントロール不良のがん疼痛に対してメサドン塩酸塩錠への切り替えが有用であった 1 例

○武村 昌俊¹⁾、長谷川 千晶¹⁾、道家 雄太郎¹⁾、森井 博朗¹⁾、野田 哲史¹⁾、中川 翔太²⁾、林 駒紀³⁾、森田 幸代³⁾、寺本 晃治^{3,4)}、池田 義人¹⁾、森田 真也¹⁾

¹⁾ 滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部、²⁾ 泌尿器科、³⁾ 腫瘍センター、⁴⁾ 腫瘍内科

P2-5 がん疼痛制御におけるオキシコドン徐放錠 - トラマドール徐放錠併用によるオピオイド増量率への影響

○磯岡 奈未^{1,2)}、田中 怜^{1,3)}、賀茂 佳子¹⁾、森本 重輝¹⁾、鴨志田 武¹⁾、石川 寛¹⁾、佐藤 哲¹⁾、佐藤 哲観⁴⁾、佐藤 淳也^{3,5,6)}、篠 道弘¹⁾

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、²⁾ メイプル薬局、³⁾ 湘南医療大学 薬学部、⁴⁾ 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科、⁵⁾ 国際医療福祉大学病院 薬剤部、⁶⁾ 国際医療福祉大学 薬学部

P2-6 当院の緩和ケア病棟における定時オピオイドの使用状況調査

○岩田 佳之、川島 美智子

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 薬剤局

P2-7 オピオイド回診運用変更の取り組み

○中原 萌子¹⁾、難波 世利子²⁾、甲斐 祭生²⁾、八木 祐一郎²⁾、石丸 都希子²⁾、高武 嘉道¹⁾、大橋 邦央¹⁾、花田 聖典¹⁾、橋本 雅司¹⁾

¹⁾ 国立病院機構 九州医療センター 薬剤部、²⁾ 国立病院機構 九州医療センター 緩和ケアセンター

P2-8 メサドン塩酸塩錠を簡易懸濁法で胃瘻より投与し、疼痛管理を施行した一例

○鈴木 直人¹⁾、倉田 奈央子¹⁾、野上 佳奈子¹⁾、千葉 美枝²⁾、鈴木 清寿³⁾、長尾 宗紀³⁾、児山 香³⁾、岡田 浩司¹⁾

¹⁾ 東北医科薬科大学病院 薬剤部、²⁾ 東北医科薬科大学病院 看護部 がん診療支援室、³⁾ 東北医科薬科大学病院 がん治療支援科

ポスター発表 3 疼痛管理 (2)

5月27日(土) 16:00～17:00 ポスター会場 (神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：隅田 美紀 (患者サポート薬剤師事務所)

P3-1 当院における緩和ケア病棟新設前後の医療用麻薬使用量 (処方量) 実態調査

○近藤 祐也、小島 佳浩、高地 日向子、佐藤 菜緒

長岡赤十字病院 薬剤部

P3-2 当院におけるメサドンの処方状況と有効性・安全性についての検討

○齋藤 裕輝、高橋 健太、佐々木 弘好

NTT 東日本札幌病院 薬剤科

- P3-3 全身型重症筋無力症を合併した前立腺癌骨転移の疼痛に対しオキシコドンを導入した1例－当院緩和ケアチームの取り組み－
 ○須田 奈美^{1,2)}、菊田 奨之^{1,2)}、宮沢 祐太^{1,2)}、塩田 祐子^{2,3)}、川久保 孝¹⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学 附属病院 薬剤部、²⁾ 東京慈恵会医科大学 附属病院 緩和ケアチーム、
³⁾ 東京慈恵会医科大学 附属病院 緩和ケア診療部
- P3-4 オピオイド注射薬持続投与中の併用注射薬に関する実態調査－配合変化と点滴ルートマネジメント対策の検討－
 ○龍 恵美、宮永 圭、岸川 礼子、橋詰 淳哉、原澤 仁美、大山 要
 長崎大学病院 薬剤部
- P3-5 当院におけるオピオイド鎮痛薬導入の実態調査と今後の課題
 ○木村 愛莉、川嶋 直人、砂田 幸江
 東大和病院 薬剤科
- P3-6 ヒドロモルフォン経口薬を2mgで開始したオピオイドナイーブ患者における検討
 ○加納 亜由子、中島 優子、野澤 彰
 上都賀総合病院 薬剤部
- P3-7 小型シリンジポンプを用いた医療用麻薬のレスキュー投与の適切な投与方法の検証
 ○山本 泰大¹⁾、平野 茂樹¹⁾、大北 淳也²⁾、加藤 栄助²⁾、小田切 拓也²⁾
¹⁾ 小牧市民病院 薬局、²⁾ 小牧市民病院 緩和医療科
- P3-8 広島赤十字・原爆病院におけるフェンタニル貼付剤0.5mgの使用状況調査
 ○大平 真也、上野 千奈美、赤木 貴紀、今田 雅子、稲見 菜月、廣田 裕子、酒井 洋子、
 榎本 考司
 広島赤十字・原爆病院 薬剤部

ポスター発表 4 疼痛管理 (3)

5月27日(土) 16:00～17:00 ポスター会場 (神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：山崎 朋子 (栃木県立がんセンター 薬剤部)

- P4-1 ヒドロモルフォンからフェンタニルへのオピオイドスイッチングによりせん妄が改善した腎機能低下患者の一症例
 ○瀬戸 聡、平山 千紘
 株式会社エルマノ すばる中央薬局大船店
- P4-2 高用量フェンタニル貼付剤からモルヒネ持続皮下注へのスイッチングにより、疼痛コントロールが改善した一症例
 ○井手 良太、松村 直紀、小野 真司、大村 士朗、森 佑輔、竹内 孝明、二階堂 崇、
 伊藤 耕治、青野 章
 株式会社エム・エス経営企画 サンヨー薬局グループ
- P4-3 自宅退院を目標にオキシコドン持続皮下注からヒドロモルフォン内服へのスイッチングを行った一例
 ○宮崎 弘康、南 貴之、若月 淳一郎、佐久間 大樹、松本 香織、小林 義文
 山梨県立中央病院

- P4-4 腎機能低下患者における M-6-G の排泄遅延を考慮してオピオイドスイッチング方法を工夫した一例
-
- 土田 隼之祐、庄司 沙夜子、吉岡 克幸
医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院
- P4-5 疼痛管理に難渋した肺癌患者に対し、メサドンへのスイッチングが有効であった 1 例
-
- 渡邊 理基、安藤 寛子、椿 浩之
茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院
- P4-6 フェンタニル貼付剤からヒドロモルフォンにオピオイドスイッチングして疼痛コントロールが良好となった一例
-
- 田口 智江、原 詳子、秋本 圭子
青葉薬局
- P4-7 在宅におけるオピオイド持続皮下注射を導入した高用量症例
-
- 竹村 智行、島田 顕
株式会社メディカルガーデン ガーデン薬局中央店
- P4-8 メサドンへのスイッチング方法の違いによる影響の検討
-
- 神農 理衣、角川 幸男、柏田 千紘、奥野 亜弓、戸島 心、清水 克次、井上 聡子、竹田 健志、高木 麻里
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 薬局

ポスター発表 5 疼痛管理 (4)

5月27日(土) 16:00～17:00 ポスター会場 (神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：宮本 康敬 (浜松医療センター 薬剤科)

- P5-1 終末期の急性骨髄性白血病にメサドンを使用した一症例
-
- 藤高 浩輝^{1,2)}、岡田 淳芳^{1,2)}、中村 豪志¹⁾、石井 一也¹⁾、河本 敏貴¹⁾、大塚 識稔¹⁾、田原 由季²⁾、大塚 由有子²⁾、野村 奈穂³⁾
¹⁾ 公立学校共済組合 中国中央病院 薬剤部、²⁾ 公立学校共済組合 中国中央病院 緩和ケアチーム、³⁾ 公立学校共済組合 中国中央病院 血液内科
- P5-2 当院におけるフェンタニル貼付剤からオピオイド持続静注への投与経路変更についての現状調査
-
- 藤井 達郎、下口谷 貴、向井 一博、森本 雅子、井藤 達也
JCHO 札幌北辰病院
- P5-3 在宅療養に向けオキシコドンからメサドンへスイッチした 1 例
-
- 南 貴之、若月 淳一郎、佐久間 大樹、宮崎 弘康、佐藤 美櫻、松本 香織、小林 義文
山梨県立中央病院 薬剤部
- P5-4 子宮がんの難治性がん性疼痛に対してメサドンが有効であった 2 症例
-
- 菊田 奨之¹⁾、宮沢 祐太¹⁾、須田 奈美¹⁾、塩田 祐子²⁾、川久保 孝¹⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部、²⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 緩和ケア診療部

- P5-5 タペンタドール徐放錠をオキシコドン徐放錠にスイッチした際オピオイドの過量投与が疑われた一例
-
- 高橋 未来、中田 和宏、木村 美由喜
越谷市立病院 薬剤科
- P5-6 難治性の腹痛からすい臓がんと診断され、オピオイドによる疼痛コントロールからがん治療が開始となった一症例
-
- 山本 雅裕¹⁾、藤田 あゆみ²⁾、小林 徹也³⁾、伊津田 知樹⁴⁾、杉浦 伸哉⁵⁾
¹⁾ スギ薬局 蔵子店、²⁾ 株式会社 スギ薬局 DI 室、³⁾ スギ薬局 川越鴨田店、⁴⁾ スギ薬局 新金岡店、⁵⁾ 株式会社 スギ薬局
- P5-7 当院緩和ケアチームにおけるクロナゼパムの使用経験～多様な効果の可能性を期待して～
-
- 阿部 美佐緒¹⁾、村上 祥子²⁾、小野 早代²⁾、橋爪 英二³⁾
¹⁾ 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 がん診療サポートチーム 薬剤部、²⁾ 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 がん診療サポートチーム 看護部、³⁾ 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 がん診療サポートチーム 外科
- P5-8 起床時に増悪する骨転移痛にクロナゼパム錠が奏効した 1 症例
-
- 杉原 弘記¹⁾、岡本 伸也¹⁾、岡田 昌浩¹⁾、岡崎 和子¹⁾、黒河 香織²⁾、渡辺 陽子²⁾、杉本 盛人³⁾、大枝 忠史³⁾、竹井 英介¹⁾
¹⁾ 尾道市立市民病院 薬剤部、²⁾ 看護部、³⁾ 泌尿器科

ポスター発表 6 疼痛管理 (5)

5月27日(土) 17:00～18:00 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：畑 加奈子(くまもと県北病院 薬剤部)

- P6-1 当院におけるがん性疼痛に対するケタミン投与症例の調査と有効性の検討
-
- 小林 慎¹⁾、高木 洋明¹⁾、久保 暉¹⁾、鬼窪 利英¹⁾、国分 秀也²⁾
¹⁾ 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 薬剤センター、²⁾ 湘南医療大学 薬学部
- P6-2 がん治療中の難渋する疼痛コントロールに対し、少量ミダゾラムが奏功した 1 症例
-
- 相澤 康子
横須賀市立市民病院 薬剤部
- P6-3 下肢の疼痛緩和に難渋したパーキンソン病患者に抑肝散が有用だった 1 症例
-
- 菅沼 聖子¹⁾、眞木 二葉²⁾、武井 悠香子²⁾、石井 裕也¹⁾、岩船 めぐみ¹⁾、安藤 喬登士¹⁾、関塚 大¹⁾
¹⁾ 新百合ヶ丘総合病院 薬剤科、²⁾ 新百合ヶ丘総合病院 脳神経内科
- P6-4 非がん性疼痛におけるフェンタニル貼付製剤が有用であった 2 症例
-
- 澁谷 恵美子、小野 達也
IHI 播磨病院

- P6-5 非がん性慢性疼痛患者におけるオピオイド導入時の鎮痛効果および副作用**
- 大野 凜太郎^{1,3)}、廣田 佳美¹⁾、田所 学^{2,3)}、粕田 晴之^{2,3)}、斎藤 和悦¹⁾
¹⁾ 済生会宇都宮病院 薬剤部、²⁾ 済生会宇都宮病院 緩和ケア科、³⁾ 済生会宇都宮病院 緩和ケアチーム
- P6-6 AYA 世代非がん患者における創部処置時の疼痛に対しモルヒネが奏功した 1 症例**
- 奥山 美香子^{1,2)}、小林 千恵^{2,3)}、関野 晴美^{2,5)}、矢内 俊裕⁴⁾、東間 未来⁴⁾、清水 咲花⁴⁾、菊池 麻衣子⁵⁾、堀越 建一¹⁾
¹⁾ 茨城県立こども病院 薬剤部、²⁾ 茨城県立こども病院 緩和ケアサポートチーム、³⁾ 茨城県立こども病院 小児総合診療科、⁴⁾ 茨城県立こども病院 小児外科、⁵⁾ 茨城県立こども病院 看護部
- P6-7 コレステロール結晶塞栓症によるコントロール不良な足趾疼痛に対し、フェンタニル貼付剤が著効した 1 例**
- 丸花 奈央、白神 霞、篠崎 浩司
 国際医療福祉大学 成田病院 薬剤部
- P6-8 在宅にてオキシコドン服用中に意識障害発症後、疼痛および離脱症状なくオピオイドが中止できた症例**
- 佐古 久美子¹⁾、中野 宏美²⁾、和田 将栄³⁾、篠原 浩一³⁾、海老根 卓也¹⁾
¹⁾ 上尾中央医科グループ 吉川中央総合病院 薬剤科、²⁾ 上尾中央医科グループ 吉川中央総合病院 看護部、³⁾ 上尾中央医科グループ 吉川中央総合病院 緩和ケア科

ポスター発表 7 疼痛管理・鎮痛薬の副作用、その他

5月27日(土) 17:00～18:00 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：嶽小原 恵(淀川キリスト教病院 薬剤部)

- P7-1 オピオイドによる疼痛コントロールに難渋したが睡眠時間の確保により改善に至った在宅での一症例**
- 西迫 多重¹⁾、青木 佐恵美²⁾、伊藤 真樹子¹⁾、林 裕子¹⁾
¹⁾ きりん薬局、²⁾ 訪問看護ステーション恵風
- P7-2 経口オピオイド鎮痛薬投与中がん性疼痛患者の栄養状態の相違による疼痛治療への影響**
- 山崎 櫻¹⁾、岸本 太裕²⁾、荒木 恵里佳¹⁾、星 加織²⁾、清海 杏奈¹⁾、今井 志乃ぶ³⁾、田中 嘉一²⁾、杉浦 宗敏¹⁾
¹⁾ 東京薬科大学薬学部医薬品安全管理学教室、²⁾ 千葉県済生会習志野病院、³⁾ 昭和大学薬学部社会健康薬学講座薬剤疫学部門
- P7-3 術後鎮痛を考えた 1 症例**
- 米窪 恭子、添田 侑希、後藤 総太郎、肥沼 理映子、山村 康比古
 東京都立駒込病院 薬剤科
- P7-4 骨髄移植後に生じたアデノウイルス出血性膀胱炎による疼痛管理に高用量のオピオイドが必要と思われた一例**
- 鳥山 陽子¹⁾、原口 浩一²⁾、諫見 圭佑¹⁾、大塚 真紀²⁾、山形 真一¹⁾
¹⁾ 国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部、²⁾ 国立病院機構 鹿児島医療センター 血液内科

- P7-5 当院における全身作用型ジクロフェナクナトリウムテープの適正使用の取り組み
 ○萩原 里美¹⁾、畑 加奈子¹⁾、村本 慎悟¹⁾、細瀧 喜代志²⁾、田宮 貞宏³⁾
¹⁾ くまもと県北病院 薬剤部、²⁾ くまもと県北病院 外科、³⁾ くまもと県北病院 総合診療科
- P7-6 強オピオイド初回導入時の制吐剤予防投与の背景と、悪心嘔吐のリスク因子についての検討
 ○藤掛 沙織、川合 正矩、臺 裕子
 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター
- P7-7 後期高齢者を対象とした酸化マグネシウム製剤による高マグネシウム血症のリスク因子の検討
 ○石井 英俊¹⁾、塩見 めぐみ²⁾、国分 秀也¹⁾
¹⁾ 湘南医療大学 薬学部、²⁾ 北里大学 薬学部 薬物治療学 4
- P7-8 精神科リエゾンチームの介入がハロペリドール注射液の副作用の発現に与える影響に関する調査
 ○坪内 清貴¹⁾、磯田 和也¹⁾、金 俊孝¹⁾、岡本 綾菜¹⁾、板井 進悟¹⁾、高林 真貴子¹⁾、
 塩本 佑季子¹⁾、内藤 暢茂²⁾、菅 幸生³⁾、嶋田 努¹⁾、崔 吉道¹⁾
¹⁾ 金沢大学附属病院 薬剤部、²⁾ 金沢大学附属病院 神経科精神科、³⁾ 金沢大学医薬保健研究域 薬学系

ポスター発表 8 鎮痛薬の副作用・がん薬物療法の副作用

5月27日(土) 17:00～18:00 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：久保田 忍(つばめ薬局)

- P8-1 ヒドロモルフォンで発症したオピオイド中毒にナロキソン持続点滴静注が奏効した一例
 ○中島 美穂、後藤 千尋、今村 牧夫
 一般財団法人 倉敷成人病センター 薬剤科
- P8-2 当院におけるがん性疼痛治療患者への Triple whammy の使用実態調査
 ○岡野 希、鬼丸 昌大
 小張総合病院
- P8-3 がん性疼痛患者へのジクロフェナクナトリウム貼付剤が腎機能に与える影響
 ○黒部 健太郎、草葉 一友
 佐賀県医療センター好生館 薬剤部
- P8-4 当院のレジメンにおけるNK1受容体拮抗制吐剤の剤形統一について
 ○白石 童子¹⁾、酒井 敏直¹⁾、石井 友也¹⁾、木村 純子¹⁾、早乙女 彩子¹⁾、福地 祐司^{1,2)}、
 竹下 光弘¹⁾、早乙女 浩之¹⁾
¹⁾ 公益財団法人 ときわ会常磐病院 薬剤部、²⁾ 医療創生大学
- P8-5 アベマシクリブの初回導入時において、テレフォンプォローアップを行い下痢による休薬を回避した一例
 ○森 祐一郎
 日本調剤 阪大前薬局

P8-6 テレフォントロアアップによるDTX療法における皮膚障害が改善した1例

○羽鳥 良
日本調剤 旗の台薬局

P8-7 当院における5FU注による肝性脳症発症の3症例から学んだこと

○柘植 友考
名鉄病院 薬剤部

P8-8 頭皮冷却装置を用いた周術期乳がん化学療法における脱毛の実態および満足度調査

○鈴木 訓史¹⁾、富樫 友子²⁾、茂木 綾子³⁾、渡邊 隆紀³⁾
¹⁾ 国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部、²⁾ 国立病院機構 仙台医療センター 看護部、
³⁾ 国立病院機構 仙台医療センター 乳腺外科

ポスター発表 9 がん薬物療法の副作用・がん治療の副作用・がんに関連する症状緩和

5月27日(土) 17:00～18:00 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長：間瀬 広樹(榊原病院)

P9-1 切除不能膀胱癌に対するnal-IRI + 5-FUL + LV療法における継続性と有害事象の現状調査

○矢敷 祐子、川村 めぐみ、澤田 憲明、木村 真策
愛仁会 高槻病院 薬剤科

P9-2 イキサゾミブの味覚異常に対して治療日誌とCiTASを活用した症例

○中野 雄介¹⁾、小林 徹也²⁾、伊津田 知樹³⁾、藤田 あゆみ⁴⁾、杉浦 伸哉⁴⁾
¹⁾ スギ薬局 岐南店、²⁾ スギ薬局川越鴨田店、³⁾ スギ薬局新金岡店、⁴⁾ 株式会社スギ薬局

P9-3 食道胃接合部癌術後患者の難治性悪心・嘔吐に、デュロキセチンが著効した1症例

○米澤 亮¹⁾、鴻池 紗耶²⁾、常田 百合¹⁾、古川 卓也¹⁾、丸山 晴生¹⁾
¹⁾ 長野市民病院 薬剤部、²⁾ 信州大学医学部附属病院 精神科

P9-4 在宅にて亜鉛華デンプンの散布により乳がん皮膚浸潤による出血がコントロールできた一例

○永治 正太郎¹⁾、安藤 恵美子²⁾、松永 智志²⁾、大久保 梨沙²⁾、薄田 麻衣²⁾、宮原 彩³⁾、
宮地 理永³⁾、浅野 雅嘉⁴⁾
¹⁾ 地域医療振興協会 市立恵那病院 薬剤室、²⁾ 地域医療振興協会 市立恵那病院 看護部、
³⁾ 地域医療振興協会 市立恵那病院 訪問看護ステーション、⁴⁾ 地域医療振興協会 市立恵那病院 乳腺外科

P9-5 腎機能低下を有するセルペルカチニブ療法における保険薬剤師の介入事例

○植竹 友輔
シーエスグループ かしわざ中央薬局

P9-6 緩和ケア施行患者に使用するオピオイド、ステロイド、ベンゾジアゼピン、抗コリン薬、抗ヒスタミン薬は、せん妄治療薬の効果に影響するのか？

○佐藤 淳也^{1,2,4)}、梅田 鈴香^{2,4)}、塚越 真由美^{3,4)}、田中 怜^{1,5,6)}
¹⁾ 湘南医療大学 薬学部、²⁾ 国際医療福祉大学病院 薬剤部、³⁾ 国際医療福祉大学病院 看護部、
⁴⁾ 国際医療福祉大学病院 緩和ケアチーム、⁵⁾ 静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、⁶⁾ 東京理科大学 薬学部

P9-7 当院におけるアナモレリン塩酸塩錠の使用状況について

○福井 愛子、平田 敦士
近畿大学奈良病院 薬剤部

P9-8 当院におけるアナモレリン塩酸塩錠の使用状況について

○中村 友紀¹⁾、福田 朋子¹⁾、玉田 智子¹⁾、畑中 由香子¹⁾、中村 進一郎^{1,2)}
¹⁾ 姫路赤十字病院 薬剤部、²⁾ 姫路赤十字病院 内科

ポスター発表 10 がんに関連する症状緩和（1）

5月27日（土） 17:00～18:00 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：森 理保（徳島市民病院 薬剤部）

P10-1 当院の非小細胞肺癌患者におけるアナモレリンの使用状況について

○佐藤 あゆみ、及川 淳、熊谷 範之、佐藤 文勇、多田 光知子、奥 尚
岩手県立中央病院

P10-2 アナモレリン、いつ始めるか。

○高原 悠子、葛谷 真理、今井 視保子、高木 裕介、木全 司
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部

P10-3 アナモレリンの使用により食事摂取量に関わらず高血糖が生じた1例

○大本 亜沙妃、大東 敏和、宮本 佳奈、山田 董、山田 行徳、泉谷 悟、佐伯 康之、
松尾 裕彰
広島大学病院 薬剤部

P10-4 がん悪液質に対するアナモレリンの有用性に関する調査

○吉田 真依、光野 真弓、入江 良之、江口 善美
相模原協同病院 薬局

P10-5 当院におけるアナモレリン塩酸塩錠の使用実態調査

○岩倉 弥生子、原田 利江、上村 友紀子、合田 明博
公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院 薬剤科

P10-6 ミダゾラムによる鎮静開始後、せん妄症状が発現し中止に至った1症例

○坂野 玲子、前野 有紀、佐竹 主道、佐原 敏之
JCHO 星ヶ丘医療センター

P10-7 当院における終末期がん患者のせん妄に対するブロナンセリン経皮吸収型製剤の使用状況について

○北村 和香子、内藤 陽子、永田 圭耶、高橋 慧
医療法人社団 杏順会 越川病院 薬剤部

P10-8 緩和ケアチームが関わったがん患者の不眠に対する処方調査

○勝浦 知恵、里岡 達哉、井上 貴子、福田 英克
公立学校共済組合近畿中央病院 薬剤部

ポスター発表 11 がんに関連する症状緩和（2）

5月28日（日） 13:30～14:30 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：石原 正志（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

P11-1 乳癌再発への不安による副作用の訴えが多い患者に対して行った取り組み

○上松 瑞代¹⁾、筒井 夫美子¹⁾、南出 汐里¹⁾、田中 里佳^{1,2)}

¹⁾ I&H 株式会社 阪神調剤薬局 伊丹店、²⁾ I&H 株式会社 阪神調剤薬局 東兵庫エリア兵庫第3ブロック

P11-2 コロナ禍、認知症においてリンパ浮腫ケアを在宅チームで、おこなえた一例

○脇田 雅子、馬場 聡、間瀬 定政

ませ調剤薬局

P11-3 入院がん患者のレンボレキサント導入による効果と併用不眠症治療薬への影響について

○後藤 悠、寺西 真凜、川口 翔平、榎田 芳、嘉屋 則子、田畑 裕和、小林 龍

JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 薬剤部

P11-4 当院緩和ケア病棟における終末期がん患者の治療抵抗性の苦痛に対する鎮静の施行状況調査～昨年の課題を活かし適正な鎮静を目指して～

○宮武 望^{1,2)}、岡田 芙美子^{1,2)}、野田 順子¹⁾、岡野 直美¹⁾

¹⁾ 和泉市立総合医療センター 緩和ケア病棟、²⁾ 和泉市立総合医療センター 緩和ケアチーム

P11-5 がん性疼痛・呼吸困難感の改善に対して使用したヒドロモルフォンが味覚障害の緩和に有効であった終末期がん患者の1例

○大畑 彩也香¹⁾、岡井 由美子¹⁾、沖政 盛治²⁾

¹⁾ 医療法人 JR 広島病院 薬剤部、²⁾ 医療法人 JR 広島病院 緩和ケア内科

P11-6 オピオイド投与と癌化学療法により除痛ができた1症例

○滝澤 康志、西澤 さとみ

飯山赤十字病院 薬剤部

P11-7 高度腎機能障害のある患者にヒドロモルフォン経口製剤で呼吸困難の緩和を行った症例

○北村 桂奈子¹⁾、足立 麻美¹⁾、山口 静乃¹⁾、藤原 優佳里¹⁾、小林 宗仁¹⁾、十倉 優香¹⁾、岸本 光正¹⁾、岡崎 早苗²⁾、橋本 かおり²⁾、藤本 有紀²⁾、木村 祥子³⁾

¹⁾ 西脇市立西脇病院 薬剤部、²⁾ 西脇市立西脇病院 看護局、³⁾ 西脇市立西脇病院 内科

P11-8 当院における終末期がん患者に対するミダゾラムの使用状況と課題

○松下 香織¹⁾、伊丹 元治¹⁾、松原 栄治¹⁾、園部 祐太¹⁾、長嶋 一泰¹⁾、大沢 由香²⁾、三浦 彩²⁾

¹⁾ 独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院 薬剤部、²⁾ 独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院 看護部

ポスター発表 12 がんに関連する症状緩和・薬物動態・相互作用・チーム医療

5月28日(日) 13:30～14:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 宮田 祥一(東邦大学医療センター大森病院 薬剤部)

P12-1 腎機能が低下した肺癌患者の呼吸困難にヒドロモルフォン速放錠が有用であった1例

○光武 瑞穂^{1,2)}、姜 貴嗣²⁾、橋本 梨花³⁾、久保 嘉靖^{1,2)}、片岡 美咲^{1,2)}、富山 正也^{1,2)}、
斎藤 美智子²⁾、大路 貴子²⁾、中浴 伸二¹⁾、田中 詳二¹⁾

¹⁾ 神戸市立医療センター西市民病院 薬剤部、²⁾ 神戸市立医療センター西市民病院 緩和ケアチーム、³⁾ 神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科

P12-2 担癌患者における呼吸困難症状の緩和に対するヒドロモルフォン注の使用状況及び有効性についての調査

○福島 さやか¹⁾、二宮 佳子¹⁾、西村 健二¹⁾、伊墻 美幸¹⁾、亀井 健人¹⁾、赤木 晋介¹⁾、
徳田 衡紀¹⁾、高柳 和伸¹⁾、石田 亮²⁾

¹⁾ 公益財団大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 薬剤部、²⁾ 公益財団大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 臨床研究センター

P12-3 肝機能障害の影響下で、ヒドロモルフォンの注射剤から経口剤への投与経路変更により呼吸抑制が認められた1例

○加藤 絵理花、岩井 峻一

戸田中央総合病院 薬剤科

P12-4 リファンピシム併用のためオキシコドンからヒドロモルフォンに変更後も疼痛コントロールに難渋した1症例

○瀧崎 恵美子^{1,2)}、中村 直美¹⁾、雲 依美里²⁾、東 崇皓²⁾、安井 みのり²⁾、岸本 歩²⁾、
柳澤 篤³⁾、所 明宏¹⁾

¹⁾ 独立行政法人 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 支持・緩和療法チーム、²⁾ 独立行政法人 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 薬剤部、³⁾ 独立行政法人 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 呼吸器内科

P12-5 薬物動態学的アプローチにより併用継続および消化管出血再発回避につながったオシメルチニブ併用エドキサバン誘発消化管出血症例

○池口 麻由子¹⁾、小出 哲朗¹⁾、桐生 浩子¹⁾、田中 裕子¹⁾、大矢知 立城¹⁾、村田 美里¹⁾、
大森 加奈子¹⁾、今西 義紀¹⁾、蛭原 愛子²⁾、伊藤 久美子¹⁾

¹⁾ 桑名市総合医療センター 薬剤部、²⁾ 桑名市総合医療センター 呼吸器内科

P12-6 緩和医療におけるテイコプラニンの皮下投与を経験した一例

○小牧 佐知子、今井 寛人、沢 仁美

川西市立総合医療センター 薬剤科

P12-7 麻薬指示の院内統一に向けたパセットの作成

○片山 広美¹⁾、伊藤 昌美¹⁾、鈴木 やよひ²⁾、田淵 志保²⁾、馬場 理恵³⁾、佐藤 篤郎^{1,4)}、
明石 久美子⁵⁾、鈴木 厚志¹⁾

¹⁾ 碧南市民病院 薬剤部、²⁾ 碧南市民病院 看護部、³⁾ 碧南市民病院 医療安全管理室、⁴⁾ 碧南市民病院 情報システム室、⁵⁾ 碧南市民病院 外科

ポスター発表 13 チーム医療（1）

5月28日（日） 13:30～14:30 ポスター会場（神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」）

座長：今村 牧夫（倉敷成人病センター 診療支援部）

P13-1 ハンセン病療養所における薬剤師の緩和医療への関わり

○加茂 章弘¹⁾、笹村 真由美²⁾、山下 克也¹⁾

¹⁾ 国立療養所 沖縄愛楽園 薬剤科、²⁾ 国立療養所 沖縄愛楽園 看護部

P13-2 勤務店舗の異なる薬局薬剤師緩和ケアチームによる社内ネットワーク掲示板を用いたカンファレンスの運用と成果報告

○石川 遥介¹⁾、神野 統尚¹⁾、五十嵐 希世²⁾、吉村 龍馬¹⁾、加藤 博昭¹⁾、小鷹 篤¹⁾

¹⁾ 望星薬局、²⁾ 中央堂薬品

P13-3 疼痛緩和ポケットマニュアルについての有用性と今後の展望

○見目 英継^{1,4)}、宮澤 正幸^{1,4)}、山川 久栄^{2,4)}、井上 美和^{2,4)}、斉藤 由香里^{2,4)}、
佐伯 美奈子^{3,4)}、喜古 康博¹⁾

¹⁾ 藤沢市民病院 薬局、²⁾ 藤沢市民病院 看護部、³⁾ 藤沢市民病院 麻酔科、⁴⁾ 藤沢市民病院 緩和ケアセンター

P13-4 当院における緩和ケアチーム立ち上げと薬剤師の介入事例

○長久 萌、梅下 三千子、池田 一美、中原 力、亀田 雅之、岡田 いづみ

立正佼成会附属佼成病院 薬剤部

P13-5 医療用麻薬処方患者リストを用いた緩和ケアチームによる病棟ラウンドの取り組み

○井上 美紗、北浦 夏子、高見 陽子

市立岸和田市民病院 緩和ケアチーム

P13-6 緩和ケアチームでの試み～「ふりかえり会」を通じて学ぶ～

○加藤 あゆみ^{1,2,3)}、岡村 由美子^{1,3,4)}、鈴木 規仁^{1,3,5)}、伊勢 雄也^{1,2)}

¹⁾ 日本医科大学付属病院、²⁾ 薬剤部、³⁾ 緩和ケアチーム、⁴⁾ 看護部、⁵⁾ 麻酔科

P13-7 当院におけるオピオイド回診の取り組み

○河口 義典^{1,4)}、小杉 明日香^{1,4)}、切畑 麻那^{1,4)}、森 千晴^{2,4)}、相馬 愛子^{2,4)}、山本 敦子^{3,4)}、
橋本 淳^{3,4)}

¹⁾ 岡崎市民病院 薬局、²⁾ 岡崎市民病院 看護局、³⁾ 岡崎市民病院 緩和ケア内科、⁴⁾ 岡崎市民病院 緩和ケアチーム

P13-8 緩和ケアチームで思春期・若年成人（AYA 世代）の終末期がん患者の思いに寄り添いながら介入できた1例～患者が自分らしく過ごすために薬剤師としてできたこと～

○大音 三枝子、薩摩 由香里、米谷 佳恵、梅田 節子、三好 祐輔、西本 哲郎、
室井 延之

神戸市立医療センター 中央市民病院 薬剤部

ポスター発表 14 チーム医療 (2)

5月28日(日) 13:30~14:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 宮永 圭(長崎大学病院 薬剤部)

P14-1 有資格者の退職に伴い活動力が低下した緩和ケアチームを立て直す取り組み過程

○村上 幸恵、大島 里菜、山本 剛
新潟県厚生連上越総合病院 薬剤部

P14-2 当院における医療用麻薬レスキュー自己管理導入とその評価

○富田 祐作^{1,4)}、柴田 真由美^{2,4)}、伊藤 靖彦^{3,4)}
¹⁾ 社会福祉法人 聖霊会 聖霊病院 薬剤部、²⁾ 社会福祉法人 聖霊会 聖霊病院 看護部、³⁾ 社会福祉法人 聖霊会 聖霊病院 泌尿器科、⁴⁾ 社会福祉法人 聖霊会 聖霊病院 緩和ケアチーム

P14-3 入院がん患者の医療用麻薬自己管理に関する運用手順書作成の実際

○山崎 朋子¹⁾、藤田 伸²⁾、関口 勲³⁾、藤井 貴美子⁴⁾、檜山 孝子⁴⁾、吉川 直子⁴⁾、宮原 秋⁴⁾、塩月 智子¹⁾、田島 英¹⁾、長谷川 芽萌¹⁾、櫻澤 有紀¹⁾
¹⁾ 栃木県立がんセンター 薬剤部、²⁾ 栃木県立がんセンター 大腸骨盤外科、³⁾ 栃木県立がんセンター 緩和ケア科、⁴⁾ 栃木県立がんセンター 看護部

P14-4 医療用麻薬服用患者に対するレスキュー薬の自己管理マニュアル作成への取り組み

○石井 啓貴¹⁾、岩上 泰崇¹⁾、海老沼 加小里¹⁾、伊藤 愛¹⁾、阿部 知恵子²⁾、景山 里香²⁾、五十嵐 由美子²⁾、佐久間 淳一¹⁾
¹⁾ 一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 薬剤科、²⁾ 一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 看護部

P14-5 退院後のPCA管理によるオピオイド投与設計の再考

○渡邊 弘祐¹⁾、小澤 智美¹⁾、森 直美²⁾、佐野 広美³⁾、雪田 慎二³⁾
¹⁾ 埼玉協同病院 薬剤科、²⁾ 埼玉協同病院 地域連携看護科、³⁾ 埼玉協同病院 緩和ケア内科

P14-6 医療用麻薬の自己管理の状況と課題点

○藤村 昭太¹⁾、荒川 昌史¹⁾、稲見 薫¹⁾、今井 靖^{1,2)}
¹⁾ 自治医科大学附属病院 薬剤部、²⁾ 自治医科大学 医学部 薬理学講座臨床薬理学部門

P14-7 調剤薬局において服用シートを活用したフォローアップにて細やかな服薬支援に繋げることができた医療用麻薬使用患者の一例

○筒井 夫美子¹⁾、上松 瑞代¹⁾、南出 汐里¹⁾、田中 里佳^{1,2)}
¹⁾ I&H株式会社 阪神調剤薬局 伊丹店、²⁾ I&H株式会社 阪神調剤薬局 東兵庫エリア兵庫第3ブロック

P14-8 診察前面談による外来麻薬使用患者に対する薬学的介入

○上田 武司、小西 千尋、伊藤 浩子、石坂 忠博
地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 薬剤部

ポスター発表 15 チーム医療・地域連携

5月28日(日) 13:30～14:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長:金子 雅好(中央薬局)

P15-1 保険薬局でトレーシングレポートを活用し疼痛緩和へかかわった症例

○山中 幸典
イワオ薬局 日赤前ミタス伊勢店

P15-2 薬業連携から緩和ケアチームが介入した1症例

○塩田 一智^{1,2)}、松本 茉弓²⁾、永島 淳一²⁾、大久保 修治⁴⁾、澤崎 晴武³⁾、若山 春佳¹⁾、
内藤 梨奈¹⁾、林 恵子¹⁾、高橋 信¹⁾
¹⁾ 地方独立行政法人東京都立病院機構 多摩北部医療センター 薬剤科、²⁾ 地方独立行政法人東京都立病院機構 多摩北部医療センター 緩和ケアチーム、³⁾ 地方独立行政法人東京都立病院機構 多摩北部医療センター 泌尿器科、⁴⁾ サンドラッグ東村山青葉町薬局

P15-3 市販薬を用いたがん患者支持療法・副作用管理

○米良 千春
日本調剤 原爆病院前薬局

P15-4 外来医療用麻薬に関する院内・院外の連携構築

○杉浦 龍也^{1,2)}、中嶋 良充³⁾、河野 雄一³⁾、高田 華苗枝³⁾、松葉 めぐみ⁴⁾、守田 裕子⁴⁾、
谷口 靖樹⁴⁾、小森 徹也⁵⁾
¹⁾ J A三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 薬剤部、²⁾ J A三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 緩和委員会、³⁾ 株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 いなべ店、⁴⁾ J A三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 看護部、⁵⁾ J A三重厚生連 三重北医療センター いなべ総合病院 外科

P15-5 独立型ホスピス緩和ケア病棟における病院薬局製剤の現状と課題

○萬谷 摩美子¹⁾、黒屋 謙吾¹⁾、小木曾 綾子²⁾、小坂 麻利²⁾、渡邊 真理子³⁾、山田 知香⁴⁾、
山田 泰史⁴⁾、山田 祐司⁴⁾
¹⁾ 医療法人愛和会 愛和病院 薬剤部、²⁾ 医療法人愛和会 愛和病院 看護部、³⁾ 医療法人愛和会 愛和病院 診療部、⁴⁾ 医療法人愛和会 訪問看護ステーション愛和

P15-6 当院におけるがん薬物療法施行患者に対するPBPMの導入と実践

○根本 隆一郎
独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 薬剤部

P15-7 日立総合病院における緩和ケア病棟薬剤師業務の見直し

○西田 宜恵¹⁾、山元 麻衣¹⁾、山崎 衣莉¹⁾、阿部 克哉²⁾、大河原 悠²⁾、田村 明広¹⁾
¹⁾ 株式会社日立製作所 日立総合病院 薬務局、²⁾ 株式会社日立製作所 日立総合病院 医務局

P15-8 病院-保険薬局とのオピオイド指導に関する連携強化の取り組み:アンケート調査から見える現状の課題

○笠原 愛菜^{1,2)}、山本 泰大^{1,2)}、近藤 綾子^{1,2)}、出口 裕子^{1,2)}、平野 茂樹^{1,2)}、村路 留美子^{2,3)}、
奥村 佳美³⁾、大北 淳也^{2,4)}、加藤 栄助^{2,4)}、小田切 拓也^{2,4)}
¹⁾ 小牧市民病院 薬局、²⁾ 小牧市民病院 緩和ケアチーム、³⁾ 小牧市民病院 看護局、⁴⁾ 小牧市民病院 緩和ケア科

ポスター発表 16 地域連携・在宅医療

5月28日(日) 14:30～15:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長:熊谷 岳文(株式会社ファーマシー)

P16-1 全国における外来がん化学療法に関する薬薬連携の推進状況と要因解析ー第2報ー

○舟木 夕貴、田口 真穂、高橋 沙季、宮川 和真、打田 帆志、野村 風眞、金田 昌之、
小出 彰宏、山田 博章

横浜薬科大学 薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室

P16-2 大学病院から地域病院に出向したことで抽出した地域における緩和医療領域の課題と薬剤師の取り組み

○板井 進悟¹⁾、原 祐輔¹⁾、坪内 清貴¹⁾、仙崎 好彦²⁾、宮前 仁志³⁾、嶋田 努¹⁾、崔 吉道¹⁾

¹⁾ 金沢大学附属病院 薬剤部、²⁾ 町立富来病院 薬剤部、³⁾ 公立宇出津総合病院 薬局

P16-3 がん診療連携拠点病院の退院時共同指導に参加後、スムーズに在宅医療に移行できた一症例

○江口 真理子¹⁾、松下 彩香¹⁾、児嶋 拓也¹⁾、鄭 唯学²⁾

¹⁾ 株式会社大賀薬局 野芥調剤店、²⁾ 株式会社 大賀薬局 調剤薬局事業部 調剤営業一課 第二ブロック

P16-4 急性期病院緩和ケア外来と調剤薬局の在宅連携における終末期患者に対する有用性

○金澤 克洋¹⁾、岡島 明子^{2,4)}、佐藤 真嗣⁴⁾、清水 智子⁴⁾、靄山 智美^{3,4)}、長谷川 豊則³⁾、
小野 翔太郎³⁾

¹⁾ 株式会社アリーナ アリーナ薬局 ひまわり店、²⁾ 社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 緩和ケア外科、³⁾ 社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 薬剤部、⁴⁾ 社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 緩和ケアチーム

P16-5 地域で終末期患者のスムーズな情報共有をするために ～有意義な緩和ケア薬剤サマリー作成への取り組み～

○宮澤 正幸¹⁾、見目 英継¹⁾、櫛引 智子²⁾、田所 佑実子³⁾、喜古 康博¹⁾

¹⁾ 藤沢市民病院 薬局、²⁾ 湘南中央病院 薬局、³⁾ 藤沢湘南台病院 薬剤部

P16-6 高齢者介護施設入居中ながん性疼痛が悪化したオピオイドナীব患者に緩和薬物療法認定薬剤師が関わることで安全にオピオイド導入できた一症例

○田代 麻美¹⁾、清水 陽一郎¹⁾、世羅 千紘¹⁾、小林 徹也²⁾、伊津田 知樹²⁾、藤田 あゆみ²⁾、
杉浦 伸哉²⁾

¹⁾ スギ薬局 所沢航空公園店、²⁾ 株式会社 スギ薬局

P16-7 乳がん自壊創においてカデキソマー・ヨウ素軟膏分包で出血を制御した一事例

○小黒 佳代子、馬場 章人、小野 雅貴

株式会社ファーマ・プラス プラス薬局高崎吉井店

P16-8 コロナ禍が看取りの場所に及ぼした影響～当薬局における在宅緩和ケアの実績から～

○沼田 朋和、天方 奉子、林田 大輝、金子 藍里、稲葉 一郎

薬局セントラルファーマシー長嶺

ポスター発表 17 在宅医療

5月28日(日) 14:30～15:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 谷藤 由佳(あおぞら薬局)

P17-1 小腸癌末期症例を通じてみえてきた在宅緩和ケアにおける課題の報告

○桑原 宏昌、木全 理容
在宅支援薬局おとくに

P17-2 認知症のあるがん患者を希望通りに在宅で看取ることが出来た症例

○飯塚 雅子¹⁾、福島 千鶴²⁾、山田 彩子³⁾、金井 有美⁴⁾、林 孝平⁵⁾
¹⁾ 医療法人社団 葵会 AOI国際病院 薬剤部、²⁾ ひまわり訪問看護ステーション、³⁾ ツクイ横浜日吉営業所、⁴⁾ ニチイケアセンター日吉、⁵⁾ 医療法人社団 修孝会 綱島ホームケアクリニック

P17-3 在宅PCAに在宅医が円滑に取り組めるよう薬局薬剤師がサポートした2症例

○三上 頌太、熊谷 岳文
ファーマシ薬局すこやか

P17-4 ご自宅で最期を過ごすため薬剤の無菌調整による支援を行った一例

○秋本 圭子、田口 智江、原 詳子
青葉薬局

P17-5 在宅訪問薬剤師が多職種と連携し、末期癌患者の疼痛管理を中心とした支援を行った1事例

○桐山 祐紀江
みよの台薬局(株) そうごう薬局 在宅調剤センター青砥店

P17-6 先行オピオイドにメサドンを併用し在宅移行できた1例

○加藤 遥¹⁾、平野 貴志¹⁾、稲葉 史恵¹⁾、吉川 直利¹⁾、西岡 綾²⁾、田口 泰郎²⁾、横田 学¹⁾
¹⁾ 半田市立半田病院 薬剤科、²⁾ 半田市立半田病院 緩和ケアチーム

P17-7 6年7か月にわたり、多職種連携によりくも膜下鎮痛法を在宅にて行った1症例

○山下 美香子
アイセイ薬局 福生店

P17-8 在宅でオピオイド持続注射に使用するディスポーザブルPCAポンプ製品固定化への取り組み

○早川 晃央
株式会社なの花東日本 なの花薬局 登戸店

ポスター発表 18 在宅医療・チーム医療

5月28日(日) 14:30～15:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 杉浦 聡(株式会社おかやま薬局)

P18-1 益田地域における在宅PCAポンプの使用状況 ～6年前との比較から分かってきたこと～

○吉田 勝好¹⁾、安木 早紀¹⁾、土佐 めぐみ²⁾、齋藤 操²⁾、渋谷 功志³⁾、服部 晋司⁴⁾、郷原 学¹⁾

¹⁾ 益田赤十字病院 薬剤部、²⁾ 益田赤十字病院 看護部、³⁾ 益田赤十字病院 医療社会事業部 MSW、⁴⁾ 益田赤十字病院 外科

P18-2 在宅緩和療養における処方適正化

○青木 克枝、田口 典子、長谷川 寛

日本調剤株式会社 在宅医療部

P18-3 ボーラス注入付加タイプ持続注入ポンプを使用したスムーズな在宅移行への取り組み

○福田 朋子¹⁾、玉田 智子¹⁾、中村 友紀¹⁾、畑中 由香子¹⁾、中村 進一郎^{1,2)}

¹⁾ 姫路赤十字病院 薬剤部、²⁾ 姫路赤十字病院 内科

P18-4 薬剤師の提案により輸液ポンプ式からディスプレイ式へ変更し患者のQOLを改善させた一症例

○中丸 和則¹⁾、龍野 英子²⁾、湯川 仁²⁾

¹⁾ 仁天堂薬局 戸塚町店、²⁾ 仁天堂薬局 本店

P18-5 呼吸困難感に対してオピオイドを使用している患者に対する新たな取り組み

○新井 美帆、鈴木 優司、丸谷 義紀、平綿 洋子、曾根 敦子

東海大学医学部附属病院 薬剤部

P18-6 多職種間連携で Best Supportive Care が良好に行われた骨盤骨肉腫の1症例

○林 美香¹⁾、須崎 貴徳¹⁾、加藤 利奈²⁾、毛利 繁美²⁾、山岸 寛幸³⁾、伊藤 美加⁴⁾、田中 弘子⁴⁾、弓削 征章⁵⁾、石澤 正剛⁵⁾、佐藤 正夫⁶⁾

¹⁾ 津海市医師会病院 薬剤部、²⁾ 津海市医師会病院 看護部、³⁾ 津海市医師会病院 栄養科、

⁴⁾ 津海市医師会病院 地域医療連携室、⁵⁾ 津海市医師会病院 内科、⁶⁾ 津海市医師会病院 整形外科

P18-7 コロナ禍で患者の希望に寄り添う在宅緩和ケアへの移行ができた症例

○澤 之珠^{1,4)}、坪井 仁美^{1,4)}、大西 順子^{1,3)}、塩尻 早希¹⁾、渡辺 佑介^{2,4)}、鶴田 淳^{2,3)}、渡辺 伸一郎²⁾、渡辺 哲夫²⁾

¹⁾ 医療法人創生会 渡辺胃腸科外科病院 薬剤部、²⁾ 医療法人創生会 渡辺胃腸科外科病院 診療部、³⁾ 医療法人創生会 渡辺胃腸科外科病院 在宅医療センター、⁴⁾ 医療法人創生会 渡辺胃腸科外科病院 ケモ緩和チーム

P18-8 がん疼痛に対するタペンタドールと強オピオイド鎮痛薬併用による相乗鎮痛効果に関する検討

○伊東 俊雅¹⁾、慶 元箕^{1,2)}、周治 由香里^{1,2)}、金杉 恵^{1,2)}

¹⁾ 東京女子医科大学附属足立医療センター、²⁾ がん包括診療部 緩和ケア室

ポスター発表 19 チーム医療・緩和医療薬学教育

5月28日(日) 14:30～15:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 宗像 千恵(国際医療福祉大学福岡薬学部)

P19-1 肺がん治療フォローアップ中にパーキンソン病を併発した在宅患者の一例

○宮澤 由梨
薬樹薬局 三ツ沢

P19-2 緩和的治療介入に対する病院薬剤師の意識調査

○青山 響¹⁾、小竹 泰子¹⁾、鈴木 光幸¹⁾、坪野 俊広²⁾、内坪 誉歳¹⁾
¹⁾ 済生会新潟病院 薬剤部、²⁾ 済生会新潟病院 外科

P19-3 血管確保が困難な緩和ケア患者の血液培養より ESBL 産生大腸菌が検出され、AMK 筋注投与にて対応した一例

○武藤 健史、田中 敏
みやぎ県南中核病院 薬剤部

P19-4 緩和薬物療法認定薬剤師を対象としたアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の現状調査

○川床 優子¹⁾、柿本 智広¹⁾、尾辻 敬子¹⁾、新上 香奈子¹⁾、江口 恵子²⁾、相良 安昭³⁾
¹⁾ 社会医療法人博愛会 相良病院 薬剤部、²⁾ 社会医療法人博愛会 相良病院 看護部、³⁾ 社会医療法人博愛会 相良病院

P19-5 末期心不全高齢患者へのオピオイド投与により症状を改善できた1症例

○西澤 さとみ、滝澤 康志
飯山赤十字病院 薬剤部

P19-6 相模台病院における薬剤師が関与する緩和ケアの内容分析

○八城 学、高橋 信也
医療法人興生会 相模台病院 薬剤部

P19-7 コロナ禍における薬剤師を対象とした緩和薬物療法のWeb研修とその成果

○鷹野 理^{1,2)}、宮原 富士子^{2,3,4)}、金子 健^{5,6)}
¹⁾ 社会医療法人慈生会 等潤病院、²⁾ 浅草かんわネットワーク研究会、³⁾ ケイ薬局、⁴⁾ 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (NPO 法人 HAP)、⁵⁾ 慶應義塾大学病院 薬剤部、⁶⁾ 慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター

P19-8 新人OJTを兼ねて、外来でフェントステープの導入に関わった一例

○上杉 章紀、杉内 貴美、根本 あゆみ、田邊 文明
東日本旅客鉄道株式会社 東北本部 JR 仙台病院 薬剤部

ポスター発表 20 緩和医療薬学教育

5月28日(日) 14:30～15:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 佐野 元彦(星薬科大学)

P20-1 地域緩和ケアネットワーク研修の成果と課題

○林 隼輔¹⁾、財満 文¹⁾、高橋 幸江⁵⁾、柴 さや香¹⁾、泉澤 友宏¹⁾、齋藤 高子¹⁾、
永野 雄一²⁾、千田 操³⁾、蔭山 博之¹⁾、濱口 明彦⁴⁾、長谷川 英雄¹⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部、²⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 臨床工学部、
³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部、⁴⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 腎臓・高血圧内
科、⁵⁾ あかり薬局

P20-2 獨協医科大学病院消化器外科病棟看護師における医療用麻薬自己管理の意識調査

○太田 栄亮¹⁾、齋藤 均²⁾、星野 幸子²⁾、外山 智章¹⁾、小曾戸 圭子¹⁾、戸崎 幸子²⁾、
臼井 悟¹⁾

¹⁾ 獨協医科大学病院 薬剤部、²⁾ 獨協医科大学病院 看護部

P20-3 麻薬取り扱いに関する医療安全研修の開催による麻薬事故件数の変化

○島袋 朝太郎¹⁾、安座間 照子¹⁾、仲村渠 美加²⁾、平良 礼香²⁾

¹⁾ 中頭病院 薬剤部、²⁾ 中頭病院 医療安全推進室

P20-4 栃木県における緩和医療の普及を目指す栃木県緩和支援療法研究会(T-PAS)の立ち上げと活動

○眞田 香帆里^{1,2)}、佐藤 淳也²⁾、奥田 泰考²⁾、下田 耕司²⁾、山崎 朋子²⁾、大野 凜太郎²⁾、
外山 智章²⁾、藤村 昭太²⁾、相田 和希²⁾、加納 亜由子²⁾、梅田 鈴香²⁾

¹⁾ ハーモニー薬局、²⁾ 栃木県緩和支援療法研究会(T-PAS)世話人会

P20-5 高等特別支援学校におけるがん教育の実施と教育効果の測定

○横橋 明日賀、横山 郁子、藤原 由佳理、國正 淳一、河内 正二、沼田 千賀子
神戸薬科大学

P20-6 学校薬剤師による小学生を対象としたがん・麻薬・緩和医療教育実施とその効果

○杉本 初枝
イクダ天心堂薬局

P20-7 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と医療用麻薬の印象・理解に関する探索的調査研究 年代別検討

○長谷川 真司¹⁾、加賀谷 肇^{2,3)}、鈴木 勉^{2,3)}

¹⁾ 塩野義製薬株式会社 CSR推進部、²⁾ 湘南医療大学 薬学部、³⁾ 一般社団法人 医薬品適正使用・乱用防止推進会議

P20-8 日英の緩和ケア教育内容の比較

○鈴木 智子
JCHO 福岡ゆたか中央病院 薬剤部

ポスター発表 21 その他

5月28日(日) 14:30～15:30 ポスター会場(神戸商工会議所会館 2F「イベントホール」)

座長: 奥田 泰考(自治医科大学附属病院 薬剤部)

P21-1 一般病棟(DPC)緩和医療科に入院した患者のポリファーマシーの検討

○島 聡子、田村 千紗、山村 智里、濱尾 文
医療法人尽心会 亀井病院

P21-2 当院の緩和ケアチームにおけるポリファーマシー対策の現状と課題

○棚山 学、折原 正和、飯島 いづみ
さいたま市立病院 薬剤科

P21-3 Barthel Index を用いた終末期がん患者の予後予測指標の検討

○岡本 伸也¹⁾、岡崎 和子¹⁾、岡田 昌浩¹⁾、村上 史承¹⁾、杉原 弘記¹⁾、行廣 里奈²⁾、
番匠谷 研吾²⁾、竹井 英介¹⁾、竹田 修三²⁾、杉原 成美²⁾
¹⁾ 尾道市立市民病院 薬剤部、²⁾ 福山大学 薬学部

P21-4 電子カルテシステムと麻薬管理システムの連携による業務効率化と安全管理の試み

○宮永 圭^{1,2)}、龍 恵美^{1,2)}、岸川 礼子¹⁾、橋詰 淳哉^{1,3)}、原澤 仁美¹⁾、大山 要¹⁾
¹⁾ 長崎大学病院 薬剤部、²⁾ 長崎大学病院 緩和ケアチーム、³⁾ 長崎大学病院 安全管理部

P21-5 在宅用 PCA ポンプに用いるオピオイドの変遷と薬剤師のかかわり

○郷治 久美、岩津 慎次郎、深津 昌弘、伊藤 聡一郎、寺本 真弓、山田 哲也
公立陶生病院 医療技術局薬剤部